京城日報

本紙定價 ／ 廣告料金 ／ 發行兼編輯人 奥田直毅 ／ 印刷人 小川三之介 ／ 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 ／ 電話番號 [illegible]

二月二十七日夕刊 （朝夕併せて八頁）

◇ライン占領狀態繼續

ライン問題に就ては佛國はライン左岸を併合する如き事無かるべくされど將來獨國に對する作戰の根源地たらしめざるべからざる必要上ラインに對する獨逸の軍事的主權を剝脫する事となるべく又獨逸に對する强制力を維持する必要上現在のライン占領狀態を繼續する事となるべし（巴里電報）

◇獨艦爆沈實現か

聯合國に引渡したる獨逸軍艦を爆破すべしとの米國の提案は實現すべく豫期せらる 尙公平なる分配を行ふは困難にして英國の如きも既に海洋自由に滿足を得たる以上絶對に反對せざるべし（巴里電報）

◇巴威勞農政府成立

巴威內相アウエル氏並に法相シンム氏は廿二日議會に於て狙撃せられ大混亂を惹起し同夜巴威勞農政府成立せる旨を宣言したり（巴里電報）

◇巴威首相暗殺者

二十二日伯林發電に依れば巴威首相アイスネル氏を暗殺したるアルコヴァルレー伯は巴威に於ける舊家の出にして今回の兇行は革命を成就せんとの動機に出でたるものならんと信ぜらる（倫敦電報）

◇阿富汗斯坦王暗殺

阿富汗斯坦王ハビブラ汗は暗殺されたり（巴里電報）

◇支那鐵道管理回答

日米兩國の西伯利、東淸鐵道管理に關する支那の回答は戰爭狀態繼續中之を擔當し且つ東淸鐵道區域は支那の領土主權を尊重せらるゝ事と信じ意を安んずる旨述べ居れりと（北京電報）

◇林男內定

西伯利鐵道管理委員

林權助男は近く發表さるべき西伯利鐵道管理委員日本委員たる事に內定し不日オムスクに赴くべし（東京特電）

◇朝鮮電興進捗

東拓持株五萬株

東拓を中心として計畫中なる朝鮮電氣興業會社は資本金一千萬圓內第一回拂込三百萬圓にて東拓より二百十萬圓を借入れ合計五百十萬圓を初年度事業資金とし電力の一般供給、化學工業品、採炭事業、石炭加工品製造販賣を目的とし電氣事業は設備に二箇年を要するを以て會社成立と同時に採炭事業に着手し平壤鑛業所附屬鑛區の一部（炭量五百萬噸）を買入るべく初年度に一割の配當を爲し得る見込にて二十八日發起人總會を開くべし而して總株二十萬株中東拓は五萬株を引受くべしと（東京特電）

◇朝鮮瓦斯電氣定時總會

朝鮮瓦斯電氣會社にては廿六日生命保險協會に於て定時總會を開き社長香椎源太郎氏議長席に着き炭價暴騰の爲め前期より二分減五分の配當を餘儀無くさる尙來期は此配當を持續し得るや否や疑問なりと報告し次いで議題に入るや借入金十五萬圓に就き株主より前期總會にて九千六百圓の借金あり此償却を爲す可しとの條件に基き七圓五十錢の拂込を爲せるに更に斯かる、借入ありしは如何との質問起り役員は配當與金共に辭退す可しとの意見出で社長は石炭節約法を計畫し又瓦斯料金三割電燈料金一割の値上申請中なれば許可あり次第二萬圓の增收ある可く借入金增加せるは前期借入金償却後擴張事業に投資せる爲めなりと答へ株主より今後の擴張事業は豫算を示し株主の承認を經たる上實行す可き條件にて本期利益金四萬九千六百圓中株主配當四萬五千圓（五分）の利益金處分案を可決し更に常務役一名增員の件に就き又復大紛擾を重ね今後は株主總會に諮り提案する條件の下に採けて賛成するに決し南江政一氏を監查役に擧げ午後三時散會せり（東京特電）

◇國葬參列代表

儀仗兵釜山通過

宮內秘書官木村甚三郎久邇宮事務官木村英俊鋤鷄間祗候小宮三保

氏等並に日根野侍從三室戸主事一行は二十七日朝著釜午前十時半發列車にて北行▲野田遞相古賀拓殖局長官は隨員と共に同じく二十七日朝釜山上陸鐵道ホテルに少憩の後午前十時三十分發列車にて北行せるが兩氏は鐵道ホテル休憩中大池忠助氏の來訪を受け遞相は內鮮間穀物輸送及び航路狀況に就き、古賀長官は鮮米移出及び外米輸入狀況に就き同氏の意見を聽取せり▲國葬儀仗兵として差遣の近衛步兵五十五名は近衛步兵大尉奥保夫氏引率將校數名附添ひ同じく二十七日朝著釜午前十時三十分發列車にて北行何れも午後九時十分南大門驛著入城すべし（釜山特電）

◎香銀會長演說

香港上海銀行年會の席上に於いて會長はその株主に向つて曰く近時主なる英國銀行は盛んに合同をなせるも當銀行の幹部は此の香港上海銀行をして飽くまで完全なる獨立を保たしめ而して如何なる場合と雖も行動の自由を失はしめ或は他の銀行に併合せしむる如き事をなさざる覺悟なり予は合同により得らるる便利を本銀行の獨立のために犠牲とせずと雖も吾人の營業區域外の他銀行と親密なる聯盟を作り又は協定を遂げ之れを享有し得べしと確信す（米所著香港電報）

◎政務總監登廳

二十六日夜歸任せる山縣政務總監は二十七日登廳執務せり

◎學務主任打合會（第四日）

道學務係主任打合會第四日は二十七日午前十時より總督府第二會議室に於て宇佐美內務部長官統裁の下に開會直に日程に入り各主任より聽取事項の報告あり午後四時散會せり

◎蠶業主任會同

三月四日より同九日迄六日間總督府第二會議室に於て毎日午前九時より小原農商工部長官統裁の下に各道蠶業主任技術官會同を開き第一日は聽取事項及び朝鮮蠶業取締規則打合せ事項第二日は同施行規則打合せ事項第三日も同上第四日は協議事項並に總督府及び各道提出協議事項協定第五日は農商工部長官の說示及び注意事項第六日は一般事務に就て打合せを爲すべし

◎鮮鐵輸送力增加

現在鮮鐵の滯貨は十五萬噸に上り尙增加の一方なるは時勢の然らしむる處にして勢ひ之が運輸力の增加を圖らざる可らざるは勿論鮮鐵に於ても種々考慮の結果來る五月初旬よりは三割の運搬力增加を見るべし今聞く處に依れば輸送力の增加を計らんには自然機關車の增補を必要とし既に米國に二十四臺を注文し內十二臺は過日釜山著揚せしが殘り十二臺は五月迄に到著の豫定にて尙滿鐵の沙河口の工場に於て九臺の製造に從事し既に四臺は現在使用するに至り殘り五臺は五月までに竣工の豫定なるが合計三十三臺の新機關車從事するを得ば優に現在輸送力の三割を增加する事確實なる由にて其間に於ても機關車の竣工毎に即時使用するの方針あれば來二月より順次輸送力の增加を見るべく然して現今の運輸能力は一日平均八九千噸なるが貨物の重なるものは米豆金鑛材木等にあり新義州の如きは現に材木千噸以上の滯貨を見るに至れり而して滿洲粟の輸送に就ては一日十四車（四萬二千噸）宛の平均輸送を爲すべしと

◎咸鏡線工事經過

八年度咸鏡線北部工事に就き久門滿鐵淸津出張所長は語る咸鏡線北部輸城鏡城間工事は過般羅赤嶺隧道を貫通し工事上一段落を告げたるが今般該隧道の取擴け煉瓦積其他を施行し更に軌條敷設を行はざるべからざるを以て同區間の開通は竣工期限たる本年十月より一二ヶ月遲れ明年初頭となるべし之れ昨夏以來當方面の事業界は異狀の進展を來し從つて著しく使用人夫拂底し鐵道工事にも大影響を與へし爲なり尤も輸鏡線中輸城羅南間は本年十二月頃開通の運びとなるべく次に八年度の新工事區間は目下滿鐵京管局にて審議中なるを以て判明せざるも多分鏡城以南約二十哩位の程度なるべく而して其の通路として山間線を取るや將た海岸線を取るやまだ決定し居らず凡つ八年度淸津出張所割當線築は案外少く同時に人夫拂底は當分の間續くべき形勢なるを以て該新工區工事も一小部分に止め全部を行ふ事不可能なるが如く思惟さる（淸津）

◎西貢米特許

西貢米の輸出特許は向後五箇月間六萬噸宛に決定せし事確實なる旨二十七日某所に入電あり右に付某有力者は曰く佛國政府にて二萬噸の特許を六萬噸に增大せしなりと思はる結局本邦への輸入は買附米も少からざる事とて八月頃までに百三四十萬石以上を期待し得べし

◎米價の將來に對する農民の覺悟に就て（上）

何時迄も高値が續くものではない

＝小原農商工部長官談＝

米價の將來に就て上るか下るかといふやうな質問をよく受けるが、我輩は何時でも、ソレが分る位なら相場で損をする莫迦はあるまいと云つて大笑ひをする。然し米の高値が何時迄も續くものではない由來米相場は歷史に於て始終波瀾を爲して一昂一落してゐる、二三年乃至數年の間昂騰を持續し更に今度は下落が何年か續くと云ふ風になつてゐる。米が無い／＼といつて大隈內閣が

▲調節に苦心

したのはツイこの間の事である。然るに反對に去年などは暴騰で燒打までやつたが未だに引締いて高い而して之が騰貴の原因に就ては大體（一）米の不足と（二）通貨の膨脹といふ事に一般から見做されてゐる。それに（三）近年收入增加に伴なふ下級社會や農民の米消費の增加と云ふ事も其原因の一つに數へられてゐる（二）の原因に就ては何等之を疑ふべき餘地はない（三）の原因は勿論或る程度まで之を認めねばならぬが其程度に至つては之を測定する事が困難である。而して（一）の原因に付いては

▲農商務大臣

が議會で明言してゐるから、一應疑ひを挾む餘地のないやうなものであるが近來兎角米の不足を疑ふと云ふ聲も聞ゆる成程大正三四年頃の米の生產額乃至供給量に較べると近年の生產額乃至供給量は大體に於て年々增加してゐる。人口の增加を計算に入れて見ても米が殊更に不足を來す譯はないと云ふことになる。若し米の不足を言ふとすれば人民の消費力の增加を餘程大きく斟酌せねばならぬ事になる。大正元年の暮から二年の春に懸けては米の供給不足を唱ふる聲が甚だしく、米價は

▲二十二圓臺

に上つたが然るに一月末からヂリ／＼下がりかけて何時の間にか不足說は消滅し兩米ガラ落を續けて四年には遂に十一圓臺になつた。米の不足するや否やは統計の正確を期し得ざる限り事實に於て見込の問題で何人と雖も之れを確證する事が出來ぬ。然し假りに不足するものとして計算を立つれば今年は約三百萬石の位の不足と云ふ見積りが今の處先づ以て普通の見方であらう。昨今に至つて朝鮮及び內地とも各種の事情から

▲正米及期米

とも下向きになつてゐる。此の上落も此給不足と見做されてゐる石數が外國から輸入さるゝものとの見據が付くに至つたなら或は恰も大正二年の樣に今度は大低落を來さぬとも限らぬ。それは勿論分らぬ。分らぬけれども米の高値が何時迄續くものでないと云ふ事丈は何人も之を疑ふ餘地がない。然らば農民は之に對して今から何等か備ふる途を講ぜねばならぬではない歟

◎出穀激增模樣

米價急落か

穀金融の緊縮思惑熱鎭靜より來る鮮內米價の低落は

▲期米に正米

に漸く著しきが更に最近內地の米穀市場は鮮米軟弱並に正米不買より漸く崩落氣勢にある矢先西貢米六萬噸輸出特許の入電は外米輸入樂觀なりその東京大阪下關等各大市場の取引所は何れも二十六日後場に於て高値より二百丁乃至三百丁の慘落を移し連日軟調の釜山正米は二十七日更に石一圓方の暴落を報ぜるが內鮮の米界は漸く一陽來復と共に軟風競ふの觀あり勞相場昂騰時代には尙先高を目標として手持米の賣出しを高張りし地方筋も低落時代に遭遇すれば何分

▲前途幾何の

激落あるや底氣味あしき振合ひあるより俄に賣出來らんとする模樣あり既に沿線には出穀の山を築き居れるが更にその投賣り的增大を見んとするより目先米價は急落せんとする形勢にありと

◎銀行更に警戒

各銀行にては過般の金融緊縮以來思惑方面の資金は全く之れを絕ち居れるが既に金融の便を附し居れる分も最近の値下りに對しては容赦なく頭金を徵し一方期限到著の分はその切り替に際し相當の條件を要求されつゝあるに付き金利の增嵩と頭金の增徵は思惑者の閑ひ米を投出さしめんとしつゝある模樣なりと

◎東京期米奔落

東京米穀取引所の先限期米は二十六日後場三十六圓五十一錢に低落し二十七日前場寄附も三十六圓五十錢の安値乃ち最近の高値より二百四十丁の奔落なる旨入電あり右は外米輸入樂觀を主とする氣崩れにて特別の材料はなきものの如しと

◎釜山發貨停止

更に一週間繼續

滿鐵京城管理局に於ては全線より釜山驛向貨物激增に付その整理上二十一日より二十七日まで大田以北及び湖南線各驛より釜山草梁著（內地行きを除く）の一車積み穀類の發送停止中の所尙ほ繼續の必要あり更に二十八日より三月六日まで七日間發送を停止する事となり夫々通知したり

第四十一議會植民地問答（七）

第四十一議會の本會議、豫算委員會等に於ける朝鮮滿洲其他植民地並に直接地方に關係せる質問應答の中重要なるものを掲ぐ。必ずしも前後の順序に次第を附せず（東京支局）

□開墾助成法案と朝鮮（五）

＝衆議院開墾助成法案委員會にて＝

▲政府委員（鈴木穆氏） 尙は能く是れは研究する事に致します、第二の金肥の利用であります、是は牧山君は能く朝鮮の事情に通じて御出でありますから御存知でありませうが、從來は朝鮮の人は施肥と云ふことに付ては考へて居りませぬのであります、それで朝鮮の產米を增加する事は、施肥と云ふことが最も必要な一つであります、未だ堆肥とか緑肥とか言へば、農民の勞力に依つて立派に肥料なぞ出來るもの、之れを怠つて唯だ只管金肥を以て收穫の增加を圖ると云ふ風な事に致しますと云ふと健全なる農事の改良が出來ませぬのです 此不經濟なる農業者にうつかり、金肥の利用等を勸めまして、それが爲めに却て彼等の不利益を招くと云ふ事もないとも限りませぬからして、此の金肥の利用と云ふ事に付きましては、一般の各種の農事の改良及び共進歩と相俟つて、此の獎勵の歩を進める、斯う云ふ風な方針で參つたのであります 昨年あたり金肥の輸入は殆ど百萬圓以上に涉つて居ると記憶して居りますが、漸次是は殖えて居るのであります。併し今の如く米價が高く、農業者の利益も非常に多いと云ふ事になつて居りまして、且つ漸く農事の改良も、全土に普及しまして段く獎勵致しても差支ないと云ふ見當も付いて居るのでありまして、本年より餘程之を獎勵する積になつて居ります現に唯今東洋拓殖會社にも交渉して、肥料輸入に對して主として便利な供給、又其資金に付ても、各地に金融組合と云ふものがありまするが、即ち產業組合の一種でありますが是等にも相當命じまして、肥料の貸入等に十分な便利を圖るやうに致して居ります、斯の如くして着々漸を以て進みますれば、今牧山君の言はるゝが如き增收は必ずあるだらうと考へて居ります、第三此の水利事業に對して十五萬圓位は、甚だ消極的であると云ふ御話でありましたが、是は先刻一寸申しましたが少し私の申すことが、徹底しなかつたと考へます、此十五萬圓は唯だ八年度に於ける見積りに過ぎませぬので、其事業が大正九年度に於て、三十萬圓の補助を要すると云ふやうなことがありますれば、三十萬圓も見込まう其位の補助を用ひます、それから一層附加へて置きますが朝鮮は內地と少し事情が異にして居りまして、即ち內地で俗に申します旱りに饑饉なしでありますが、朝鮮はその反對に雨が多いと云ふ場合に、饑饉が無いのであります、雨が缺乏して居るのであります、水が缺乏して居るのであります。それで今日朝鮮の產米を增加するには新しく此間題をやると云ふことよりも、水利の便利を圖つて、水掛りを好くすると云ふことが非常に有効にして、又最も早い方法であります。朝鮮に於て肥料を使ふことは、一つは此の水が甚だ少くして倂々肥料をやつても、十分水利の便のない所でありますれば、其の効能が甚だ乏しいのであります。それで今回東洋拓殖會社等に內命しまして、金肥の利用を勸めるにしても、特に此水利灌漑の便ある收穫の確實な所を選んで勸めて居るやうな次第であります、故に今後米穀の產額を增殖しようと云ふには、一番此の水利の便を圖ると云ふことが、確實にして宜いのであります、それであるからして此は總督府に於きましても、此水利と云ふことには、十分力を注いで行きたいと斯樣に考へて居るのであります、大體に於きましては、牧山君の御說に合つて居るやうにも考へますが、尙ほ併し此上とも、十分徹底しまするやうな事には致して行きたいと思つて居ります

▲牧山耕藏氏 向ふ十ケ年間に十萬町步の水利工事を完成せしむると云ふ御方針でありまするが、十萬町步の水利が完成しました後に、此の十萬町步の增收額は、どれ位の御見込でありませうか、それと水利工事に補助を一割五分以內下付されるに付きまして、工事が總督府のみによつて、總督府に依頼して、其設計を俟つて居ると云ふことでは、どうも不便であらうと思ふのであります、限りある總督府の官吏で澤山な出願に對して調査をして責任を以て、其の設計の下にやるならば、確かに間違ひないと云ふ保證附で設計をやられると云ふことに付いては、餘程總督府も愼重にするのでありませう、其の調査の結果は中々捗取らないのであらうと思ひますが民間の……

▲委員長（田中隆三氏） 牧山君朝鮮の方は 餘り遠いやうで ありますが大抵の所で打切つて下さい

◎沖繩丸就航

仁川橫濱間

朝鮮西海岸對橫濱阪神定期航路開始に就き日本郵船永陵丸は來る三月八日頃仁川入港の豫定となり居るは既報の如し大阪商船に於ても其筋の內命により來る三月より引續き毎月一回仁川橫濱間の定期航路を開始し穀類其他の輸送を爲すべく初航として沖繩丸（一三二〇噸）を三月十日頃仁川發就航せしむることゝなり居れるが右航路は日本郵船と協定の上兩社各一隻宛を之れに充當し月一回航行せしむべき豫定なりと（仁川）

◎府及組合豫算

大正八年度京城府豫算及び同學校組合豫算は既報の如く目下編成中なるが大體は廿五日完成せしむる筈なりしも尙兩豫算共諸物價昂騰の影響を受け經費膨脹せしため當局に於ても考慮を要するもの尠からず爲めに全部完了を告ぐるは多少の日時を要すべしと

◎官廳執務時間

一般官廳執務時間は三月一日より四月三十日まで午前九時開廳午後四時退廳のことに變更さるべし

◎中旬鮮鐵收入

二月中旬に於ける朝鮮鐵道の運輸收入は客車二十七萬七千百圓貨車收入二十二萬九千圓合計五十萬六千百七十六圓にして之を前年同期に比すれば十八萬二千圓の增加を示し一日一哩收入は四十五圓九十三錢を示せり

◎人見局長東上

人見鐵道局長は法制局と事務打合の爲二十日間の豫定を以て二十七日夜又は廿八日朝南大門驛發東上すべし

◎中村理事歸城

本社理事中村健太郎氏は病氣に罹り熊本市に轉地療養中の處漸く全快廿七日夜歸城

人事消息

▲八島音次氏（全南第一部長） 二十七日朝退城

▲古賀傳吉氏（靑島守備軍民政部遞信部長） 二十七日入城浦尾へ

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士） 二十五日所用にて大邱出張中の處二十六日夜歸城

▲三田寺寛氏（咸北第一部長） 廿七日朝退城

▲佐藤彬氏（元山商議特別議長） 廿六日入京廿七日南鮮へ赴き二日再入城

▲梅內常次郎氏（滿鐵銀行外勤） 二十七日朝釜山發北行

八面鋒

◆講和會議終了し、愈世界平和克復の曉には、世界地圖の色彩の變ずべきは、最早明かなる事實なるも、茲に哀れを止むるは、中歐老大國墺太利の末路也。大戰の末期に於て墺洪國內に於ける、各民族は、各々其の居住する地方に、獨立の一國を建設すべく、夫々大運動を試みたり。其の結果流石老大國も、瓦解分裂して、遂に二王國三共和國の出現したるは、洵に悲慘なる歷史を傳ふる者也。

◆殊に悲慘なるは、僅に其の一共和國として存在したる、獨逸族墺太利は、獨逸と瑞西とに境を接して、人口漸く一千餘萬を有し、辛くも、舊墺太利の俤を止めたるも、這も亦寄宵の一夢、外部の壓迫と、內部の苦悶、遂に獨逸に合同するの止むを得ざるに至り、茲に全く墺太利は事實に於て滅亡せり。彼の有する歷史は、吾人敢て醜なりと云はず、彼の末路や、王家の末路よりも慘也。

◆講和會議の結果、獨逸はアルサス、ローレン二州を、佛國に還附すべきは、蓋し止むを得ざるべし、然るに獨逸は彼の二州を奪還せらるゝの代りとして、獨逸族墺太利共和國を得るとせば、獨逸は二分を割讓して、更に二分よりも大なる領土を獲得する譯也。勘定高き獨逸人は、損をして德をする譯也。

◆支那南北會議も、愈二十日より開幕せり、南方の大立物たる唐紹儀君が、頻りに日支間の外交條件を云爲して、北京政府に食つて掛るが如き觀あるは、之れ强ち北方專制の對策とのみ見られざる也。彼は可なり日本に對する理解を有つ者なるも、根が親米國主義の人也。彼の背後には、此の大芝居の囃方を爲さんが爲、頻りに笛太鼓にて賑はさんとする傀儡師のあるは、何人も之を知る。支那人をして支那を治めしむるは當然也、敢て他より容喙するの要なし、然るに今日斯る傀儡師の跳梁するは、却て支那の爲に、百害あつて一利なし、支那人たるもの、一考を要すべし。

吳服 京染 白生 合資組織 地販賣
京城本町二丁目八六
京屋染物店
電話長二四〇一番振替京城五一九九番

加雀用極上等絹糸製
カスミ網
高サ六尺三 二間 横巾三十四 ［以下寸法 illegible］
前金に限り送料 引換 送料貳拾貳錢
加雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一度に數十羽位は容易く捕れますから晚餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります
朝鮮京城永樂町
吉備商會製網部
電話三一四番 振替京城四三八番

朝鮮全道 一手特約店を求む
◎日用必須品（內地到る處の信用ある商店にて販賣す）
▲御希望の方は至急御申込相成度詳細御回答可仕候
滋養調味料 御印（美味） 製造元
大阪市東區船越町二丁目
合資會社 帝國食料品製造所
電話東三六二番

鮮明 法制研究會編
文官普通 判任見習 雇員巡査
試驗問題集
發行所 京城本町 振替京城二〇二參 ウツボヤ書店

日鮮大
▣菊半形紙數二百二十頁◆定價金五十錢◆送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年度以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試希望者をして試驗の概況及程度を知らしめ必勝の希望を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所尠少にあらざるべしと信ず
賣捌元 京城大平通 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部

弊堂創立明治二十八年
各時計 蓄音器 卸商
貴金屬製作卸所
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振替京城七八二

荷物自動車
京城忠州春川間 隔日往復
時代の要求に應じて荷物運搬用自働車數臺を購入して左の場所に於て荷物運搬業を開始し荷物の大小を論ぜず迅速安全低廉且親切を旨とし大方の御依賴に應じ可申候
（市內乘用自働車の設備も有之候）
京城府黃金町一丁目一八一番地
東洋荷物自動車商會
電話四六三番

趣味ある
漢陽高麗燒
朝鮮物產各種
天日草高麗編製造元
京城本町
海市商會
電話二一五〇番 振替京城四八番
支店 京城、大邱、東京 京橋區日本橋通
目錄御報次第呈送

火災保險料受領廣告
一金壹千六百圓也
弊所貳月二十日類燒の災に遭ひ候處豫て橫濱火災保險株式會社と保險契約致置候間貳月廿五日保險金額全部受領仕候茲に同社の正確なる營業振と迅速懇切なる取扱を感謝仕候
京城古市町三七
米酢釀造所
主 中野助一郎

（列車時刻表） [illegible]

大正七年七月一日改正現行

◎朝香宮御不參 御風氣の爲と承る

國葬御參列の爲め御渡鮮の筈なりし朝香宮鳩彦王殿下は御風氣の爲め御渡鮮御見合せと相成るべき旨其筋に入電ありたるが御代りとして皇族御渡鮮相成るや否やは本日迄のところ判明せず

▽儀仗中隊の編成 選抜したる二箇小隊の將卒 王世子殿下にも滿足に思召されん

近衛步兵第二聯隊附中佐 藤田鴻輔氏談

李太王殿下の御葬儀も愈々近づいたが是れに就て我が近衛第二聯隊に對して突然儀仗兵派遣すべき由の命が下つた禁衞の任にある近衛師團に對して遙々朝鮮へ儀仗として派遣せしめらるゝといふのは曾て例の無い事であつて我が皇室の李王家に對して如何程の禮遇を賜ふかは是れを以て見るも略ぼ知らるゝのである而も李王世子垠殿下は步兵少尉として我が近衛の二聯隊に在らせらるゝのであつて此の

御因緣深き軍隊の渡鮮

に對しては垠殿下も必ずや御滿足あらせらるゝであらうと思はれるそこで我聯隊に於ても此の畏き 陛下の大御心に添ひ奉る爲めに各中隊より選拔したる六十餘名の一隊即ち二個小隊より編成されたる一個中隊の將校以下を派遣する事とせられた其選拔に際しても成る丈け垠殿下に御因緣深き第十二中隊を主としたのである而も中隊長は赫々たる武勳のり 陛下の御寵遇いと厚き故元帥其人の令息たる奧保夫大尉であつて小隊長は彼の日清戰役に於て成歡驛の激戰に名譽の戰死を遂げ今も猶武人の龜鑑として傳へらるゝ

松崎直臣大尉の遺亡兒

たる松崎直人中尉と今一人は垠殿下の命ぼ士官候補生にあらせられし時代から同中隊にあつて御因緣殊に淺からぬ大河原中尉であるそれから近衛師團を代表して不肖乍ら此の藤田鴻輔と今一人は第一旅團副官たる彼の西南役の驍將谷干城將軍の愛兒たる谷儀一大尉とが渡鮮する事となつてゐる儀仗中隊は二十五日に出發する豫定となつてゐるが予等も是れと前後して渡鮮の途に就く考へである（東京支局）

▽學生團體堵列場所

學校生徒及び各種團體の堵列場所は大體左の通りにして堵列者は御道筋南北兩側車道の端に三列又は四列に併列すべし

▲黄金町一丁目南側 龍山在鄕軍人分會、龍山仁川在住愛國婦人會員、將校婦人會員▲同北側 龍山在住赤十字社員▲黄金町二丁目電車交叉點角より永樂町大通に到る南側 小學校生徒（五千人）▲黄金町二丁目電車交叉點角より馬橋通入口角に到る北側 濟生院及公立普通學校生徒（三千六百七十六人）▲日清生命保險會社前より黄金町四丁目交番角に到る北側 初等程度私立學校生徒（四千九百五十五人）若草町角より花園町角に到る南側 專門學校、農業學校、高等普通學校中學校生徒（二千七百九十七人）▲永樂町角より若草町角に到る南側 女學校（一千七百六十八人）▲黄金遊園前電車停留所より花園町停留所に到る北側 中等程度私立學校生徒（三千百五十一人）▲花園町電車交叉點角より初音町停留所角に到る南側 京城在鄕軍人會、京城在住赤十字社員及愛國婦人會員、將校婦人會員▲花園町停留所より初音町停留所に到る北側 各宗教團體

▽海軍儀仗隊 二日朝入城

國葬の爲派遣さるべき軍艦鞍馬、伊吹の二艦は二十八日正午仁川に入港の筈にて儀仗隊は三日早朝入城一泊の上國葬に參列の筈なり尚ほ右儀仗武官は二十八日下仁諸般の打合を爲す筈

▽先着者 道筋

御道筋に當る德壽宮前及び黄金町通は一般交通を停止せらるゝに依り舊訓練院なる葬祭場に先著せしむる者にして北よりする者は鍾路五丁目より右に折れ石橋（俗に馬橋と云ふ）を經て芳山町に出て南よりする者は初音町より同町電車停留所に出て黄金町を橫切り式場に參著し又鹵簿に入るべく京城日報社軍隊兵器支廠跡に到著せしむる者は午前八時前に著するに非ざれば通行不可能となるべし

▽赤愛會員の特典

三月三日國葬儀執行に際し赤十字社有功章佩用社員に限り特に葬場參列者を許され參列者中其道員の位置に列する特典を與へらるべく其他の赤十字社員及び愛國婦人會員は興宣引通路沿道二箇所（其筋より定められたる場所）に參列拜觀し得ることゝなるべし

▽救護班設置

葬儀執行に際し各所に救護所を設置さるゝ由なるが赤十字社朝鮮本部より醫員看護婦を派遣配置すべし

▲三月三日國葬當日の救護所は太平通京城日報社前、黄金町東拓會社前、若草町停留場前及び初音町停留場前の四箇所に設置せらるゝ豫定なりと

▼御道筋取締

國葬當日左の通り御道筋の交通を取締る事となるへし

一、午前七時三十分以後國務官前より黄金町通光熈門電車停留所に至る間電車其の他車馬運行及停留を停止す

二、午前八時より御道筋一般の交通を停止す

三、鹵簿に引續き喪輿方御通過後（午前十時三十分頃）黄金町一丁目若草町通總督府醫院通の三十字路を南北に通過する者に限り一時一般の交通停止を解く

四、午前十一時頃より喪輿方御退場に付再び前項の交通を停止す

五、參列者の退出及儀仗軍隊の歸還に伴ひ南北の交通を始め次に一般の交通を開始す

▽沿道拜觀者を以て埋もらん 地方からも澤山來る

朝鮮に於ける空前の盛儀たる故李太王殿下の國葬儀當日は全鮮各地から京城に蝟集する拜觀人は幾萬に上るべきか殆んど想像も付き兼ねるほど大多數に上るらしい。此の地方からの拜觀人に加ふるに京城市民三十萬の

▽過半數は 鹵簿行進の沿道若くば葬場附近に密集するであらう。ところが鹵簿の御道筋間十五町であつてその御道筋兩側前列は各學校生徒の堵列だけ埋られる筈であるから一般拜觀人の雜推して知るべしである。

▽國葬鹵簿 は大漢門を出て黄金町の御道筋を眞直に進まれる筈であるが一方朝鮮式の葬列は同日同時刻に永成門を渡して鍾路通りを眞直に東大門に進み更に大門から右折して葬場裏手に著し國葬終了を待ち大輿を奉じて谷

▽御墓所に 向け出發するから朝鮮式の葬列を觀るものは鐘路通りに待たねばならぬ。ここで當日此の二大葬列を拜觀する爲めに市民の大部分は家を空にして御道筋に集まるであらうから此機會に附け込んで

▽盜賊掻浚 等も跳梁するかも知れない。それから失火なぞの大事を起す虞もあるが警

泥棒掻浚ひに御用心

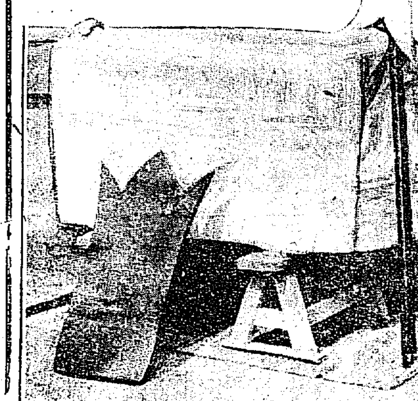
朝鮮式の葬列は鐘路から東大門へ

察では御道筋の警戒に全力を傾注するから自然市內各方面に亘る警戒は屆き兼ねることになる。そこで當日は各戶各人此點に充分注意を要する。又當日は

▽老幼の人 達には必ず保護者が附く必要がある殊に迷ひ兒を防ぐために小供には住所姓名を記した札を持たせて置けば萬一の場合に便宜である。

兩陛下還幸啓 三月廿五六日

天皇皇后兩陛下には愈來る三月廿五六日頃東京に還幸啓あらせらるべき事に御內定相成りたりと承はる因に東宮殿下には四月上旬還啓の御豫定なりと



到着したる御葬具

◎佛國首相快癒近し 再び要職に就かん

クレマンソー氏の危險期は二十三日を以て全く經過したるを以て氏は最早數日中に容態輕快となり多分今週中に隨員省を訪問すべく再び講和會議々長の要職に就くを得るに至るべし（巴里電報）

◎良子女王の佛語教授者 適任者に交渉中

東宮太子殿下妃に御內定相成りたる久邇宮良子女王殿下の佛語及び音樂教授は最初伊[illegible]養五郎氏令孃清子と今の本野盛一子夫人を拘さるゝ筈で在つたが種々なる都合により變更されて爾來後任者詮衡中の處此の程漸く適任者を發見し目下交渉中の由なれば近く決定發表の運びに至るべく尚下澁谷なる宮家新築工事は今秋迄には竣成するだらうと承はる（東京）

◎慶北にも鵞口瘡發生 永川郡に三頭

慶北永川郡琴湖面五溪洞に於て蹄口瘡現はれたる事廿五日發見せられ當局にては直ちに豫防員を派遣し診斷の結果罹病牛三頭を出したり尚蔓延の兆あるを以て同地に豫防事務所を設置し附近及び近村との交通を遮斷して極力撲滅に努めつゝあり（大邱）

船成金が夢の跡 廿三圓に暴落

五十圓拂込の株が

成金の全盛時代は夢となりて一時千圓臺の高値を呼んだ船價が四分の一に暴落し百萬長者と喧されたる成金の如きは著しく計算すると裸一貫と云ふ慘めな者さへある先づ勝頭第一に悲慘な內狀を曝け出したのは大阪の大正汽船會社で發表した

▽整理案に 依ると先づ資本五百萬圓（全額拂込濟）を三百五十萬圓に減資し此積立百廿五萬と合せて船價の缺損を補塡しやうと云ふのであるが是でも十分の補塡が出來ず止むなく五月末と十一月末の上下兩決算期に利益金中より四百十五萬圓を削き現在會社の資産として計上されてある噸當り六百三十三圓と云ふ船價を十一月末までに時價と大差ない二百七十七圓に引下げやうと云ふのである

▽俄に嫌氣 の賣物が出たが一方株式界では此の發表と共に前日まで三十圓を唱へられて居た同社の株が一躍に二十三圓に暴落したのを見ても如何に海運界の不振を極めて居るかを立證して居る[illegible]に計上して居る向も多いが是等も早晩同運命に陷るものと見て差支なからうと云ふ噂が高い（大阪）

◎愉快なる會合 英米の僚友と共に談話しつゝある日本水兵（中央）

◎不敵な支那人强盜 巡査と大格鬪

二十五日夜平壤若松町卅二番地鮮人劉樹德方へ短刀及び短銃を所持せる一名の支那人强盜押し入り俺は今回支那に歸國する者だ其旅費として有金を出せ四の五の云へば撃ち殺すぞと脅迫したれば劉は恐怖の餘り懷中せる廿一圓餘を手渡したるに賊は悠々敗くも是れ許りの金では承知が出來ぬもう少し出せと短銃を突き付けて脅迫せるより劉は止むなく然らば少時待ち呉れよとて近隣に行き十圓を工面して與へたるに賊はそれを奪ひ尚ほ不足だと脅迫し居る處へ急報に接したる平壤署の本田巡査が駈付け來り逮捕せんとするや件の强盜は必死となりて巡査に組み付き大格鬪を始めたるが結局同巡査の爲めに取押へられ目下同署にて取調中なり

◎八雲は旅順へ

大連入港中なりし練習艦八雲は二十六日午後拔錨旅順に向へり（大連特電）

◎喜劇『千圓束』

登場人物〔彼二浦の低能兒 大和家の雛菊〕

此の度內地商店繕化へ登樓して大和家の雛菊を指ッせサンザ散財した揚句「おい國彌是したお前に遣る」と手の切れる樣な千圓束を投げ出した彼二浦一九と云ふ男があつた此セチ辛い世の中に惜し氣もなく大枚千圓束を投げ出して呉れる男は當世成金、若旦那か乃至はドロッケか何れにしても歩かと許り喜んだのは國彌で早速俥を走らせて色々の首物に四百五十圓を費ひ殘りの五百五十圓を堅く握り締めて運がいて來たわなぞと、喜んで居た迄はよかつたが此男と云ふのは彼二浦でも名な低能兒で親の金をチョロマカシた揚句の始末と判明して國彌は命より大事にして居る金五百五十圓を取り返され『ア、踏らない〈』

◎國定教科書が四割方値上される 朝鮮中で五十萬冊 六分通りは既に到着

朝鮮の小學校用國定教科書は南鮮地方は釜山、北鮮地方は京城の日韓書房で年々買拂いて居るが本年度の教科書中六部通りは去る十五日既に到着濟で殘りの四部通りは廿三日大阪發荷の來月廿日頃當地着の豫定となつて居る尤も此內で

◆本年から變 る課本は尋常六年の修身、同三年の算術は今の處何時頃出來るか一寸見當が付かない併し昨年の改正の時の樣に全部取揃ふたのが九月頃にもなつては教育上甚だ不都合なので調製を急ぐ樣に通知してあるとの事である尚ほ本年度から朝鮮の內地人兒童は

◆三種讀本 を使ふ事になつて居るが本年は先づ尋常一年丈三種を使ひ他は依然一種を使ふ。そうして來年が二年明後年が三年と云ふ風に漸次三種讀本を使ふ事となつた。北鮮販賣所の日韓書房取扱の教科書は前期後期併せて約廿四萬冊、南鮮を合せると約五十萬冊を年々使つて居る、國定教科書共同販賣所では

◆紙價暴騰 の結果本年度の教科書から餘儀なく定價を改正して假へば三錢の書方が四錢に四錢の修身が五錢に五錢の家事書が七錢に、下級の八錢の讀本が十二錢に同じく二級の九錢のものが十三錢と云ふ風に各値上されて居る、朝鮮に於ても此値段が適用される事は無論であると

◎水に色をつけて苦味丁幾 猶太人や支那奸商と結託して哀れな西伯利住民を欺むく惡むべき日本奸商

經濟援助委員會は昨秋二百萬圓の資金で西伯利救濟に手をつけて以來今日までに最も缺乏してゐる物資の醫藥砂糖糸等を約二十萬圓だけ西伯利へ送つて救濟しました各地で百萬圓ばかりの

▼物資の廉賣 をやり又我が赤十字救護班に賴んで各病所で施藥をする爲七八萬圓の藥品を目下輸送の途中にある米國が今日まで民間の名で西伯利救濟のために一億圓內外を投じたのに比ぶれば實に貧弱であるが乏しい日本の財政で政府が斯く努めてゐるのは日本の親切を充分に西伯利各地の住民に汀らしむためである然るに泥棒的奸商は盛んに西伯利へ

▼粗惡品を送 り日本商品の聲價は將に地を掃はんとして居る南洋支那等でも同樣であるが之等の奸商は大阪を根據とし西伯利にある猶太人や支那商人と結託して特に粗惡なゴマカシ品を製造させて無智で正直な西伯利の住民に賣つける無論暴利の大部分は彼等猶太人や支那商人に占められ信用を失墜するのは日本製の商標をつけた我商品だけである外務省でも日本の商人から對露貿易について問合せのある場合は猶太人や支那人との取引には警戒せよと指導してゐる

▼粗惡品輸出 の取締は頗る困難で特に對露貿易品丈の檢查場を設けるか浦鹽と大連の稅關に商品檢查官でも置けばよいのであるがまだ其處までは行つて居らぬ農商務省から再三知事や商業會議所に訓令を出してゐるが奸商が一片の訓令で覺醒するものではない何うしても制裁的の取締をせねば駄目である最も醜いのは

▼賣藥業者で 病に苦しんでゐる者に貪り放題に高く賣り而も其れが詐欺に等しい場合が多い先日も日本の商人が苦味丁幾だと言つて水に色をつけ苦い物を交ぜて賣つてゐるのを發見したと西伯利から歸つた某軍醫が非常に慨嘆してゐた今に於て何とかせねば西伯利に於ける日本の信用は奸商のために悉く破壞されてしまふであらう

◎公設洗濯場

大邱府にては公衆衛生上よりして公衆洗濯場を新設する事に決し種々調査の結果德山町配水池下に設置する事にしたり、經費は六百圓の豫算なるが之れが完成の上は德山町南山町南城町明治町附近の住人は便利なるべしと

◎間島鮮人と國葬

三月三日李太王國葬日當日間島六道溝に於ては內鮮人相計りて追悼會を行ひ又間島に住する諸種の鮮人團體よりは總代を選び其總代は香奠に類する供物を持ちて入城の筈

▲李太王殿下の國葬鹵簿は延長約四千米突に亘る見込みである、四千米突と云へば恰度我一里に相當するところが德壽宮から訓練院葬祭場までの距離は約二千三百米突であるから、鹵簿の先頭が葬祭場に到著しても半數は尚控へ所に停滯して居る譯だ▲國葬當日、擔持や棺持の役を勤める雜色には、總督府の雇員連を使ふことになり二三日前志望者を募つたところ、忽ちにて豫定人員を超過したと云ふ事である。

昨夜出發の砌りは御多用中にも不拘遠路御見送を忝ふし感謝の至りに存候右不取敢以紙上御禮申上候
笠原寬美
同 米子

◎端川の鑛業

近時大資本家にして咸北道鑛業に着目し採鑛を開始せんとするもの[illegible]

砂金	同	李昌翼
黑鉛	何多面	塘敬次
鐵	同	三菱合資
金銀	水下面	大川[illegible]
銀銅亞鉛	同	大塚忠太郎
銅	同	大[illegible]
金	同	大川
銀鉛鑛	同	[illegible]
金銀鉛	南斗日面	李宅
鐵	同	[illegible]
黑鉛	同	井上[illegible]
亞鉛	同	森[illegible]
金	北斗日面	北川[illegible]

◎護送の俘虜

北京より上海に送るべき獨墺俘虜の中に合すべき北滿西伯利在住の獨墺國人男三十四名女二名は十九[illegible]

◎連絡船上陸客 廿六日

日午前入港博愛丸一二等客 [illegible]

天氣 京城 地方 晴一時雲

演藝案內

有樂館 ▲寶塚 ユニヴァー週報十九號 當る二月二十五日より特別作品公開 冒險活劇『人か野獸か』全五卷 活劇『幽靈船』十七篇 悲活劇『罪の報ひ』全五卷

黄金館 電話（晝間）三二六六（夜間）三二六七 當る二月二十一日より眞の特別興行 冒險活劇『運命の鍵』全三卷 連續活劇第四『鐵道王の娘』 『淚の家』全五卷

大正館 電話八七三 當る二月廿五日大映畫 米國キーストン會社秀作 大滑稽チヤプリンの衝突 『ドーグラスの好奇』 新派悲劇『都鳥』四卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 東京大阪合同落語一行 當る二十五日より毎日午後六時半開演

壽座 京城本町 電話五七八 市川猿之助一座

◎生徒募集
本年四月入學セシムヘキ第壹學年生徒約百名若クハ約百五拾名ヲ募集ス詳細ハ三月三十日以後當該學校ニ就キ承合スヘシ
大正八年二月
京城中學校
釜山中學校
平壤中學校
龍山中學校
大田中學校

二圓均一デー
三月一日二日二日間
名仙、帶地、染絣
瓦斯縞、甲斐絹
モス友仙、羽折裏
紺絣、裏地
半襟、セル
其他總テ數百餘點
期間中ト雖モ指定數ノ賣リ切レシ場合ハ追加セズ
京城本町一丁目
まるやす呉服店

…に於ける鑛業權…左の如し
品名　所在地　所有者
金銀銅亞鉛　黑[illegible]　[illegible]
砂金　同　[illegible]
同　同　望月[illegible]宮
同　同　齋藤新太郎
同　同　大田[illegible]
鐵　石[illegible]　[illegible]
同　大塚忠太郎
同　李[illegible]龍
同　高橋[illegible]
同　森下茂[illegible]
同　石川八十郎
同　三菱合資
銀砂鐵同鉛銀黑鉛雲母黑鉛　金鉛母母鉛
同　同　同　同　同　同
李[illegible]　谷[illegible]　坂[illegible]　韓[illegible]　賀田金三郎　坂本[illegible]七郎

…日朝支那將校一名兵二十三名衛兵…の下に哈爾賓より長春に來り午後七時發の南滿列車にて北京に向へり(長春)

流行性感冒の歴史

症候と豫防の方法……(四)……

原總監部技師牛嶋同囑託調査

◇本病傳播◇

本病毒の傳播は主として罹病患者略出の生痰沫吸入にあり今回流行の本病の傳播たるや甚だ猛烈にして傳染力の偉大なる意外に想像の外に出で各都邑住民を一掃するに非らざれば止まざるの趨勢を示す、彼の流行傳播の迅速なる恰も風力により病毒を散布するが如し。彼の小兒傳染病たる悪性痲疹の流行に似たる點あるも彼とこは自ら傳染經路に多少の差異あり、即ち痲疹に於て病原今尚不明に屬すと雖も傳染原因は塵埃に混入し空氣の介助による傳播あるを以て隨つて傳染系の全く不明なること多し然るに流行性感冒に於ては傳染經路明かにして空氣傳染即ち塵埃の關係最も尠く主として間接傳染によるもの最も多大なりと思料す、又稀なれど患者の喀痰にて汚染せられたる物品によりて介達傳染を起すこともあり得べし今左に傳染機會の二三の例を擧ぐれば次の如し

(イ)個人關係　例へば茲に本病罹病の一患者ありとせむか同家族は之を放置し能はざるを以て看護上必ず患者の枕頭に於て談話を交換し不識中患者の有毒痰沫を吸入し病毒を受授し罹病するに至る、斯くして病毒は甲より乙に傳播し其の狀肺ペスト病の傳播に一致す、故に一家數名の感染者を生ずるは何の難きに非ず家族感染者としては先づ患者と最密接の關係あるものよりす、又家族同居者にして殆んど家族と同一視すべき者ありと雖も接觸關係薄きものは往々罹病を免るゝものあり、之に反し醫師は患者に接觸する機會最も多きを以て隨つて今回の本病流行に際し開業醫は先づ第一に感染し罹病者尠からざるを見るも證明するに足る

(ロ)交通關係　今回の本病傳播狀況たるや患者發生地附近より交通關係なく戸戸感染せしが如き傾向なし換言すれば隣家に多數罹病者ありと雖も其の患家と何等の交通關係なき隣家に於て罹病せしものなし、之れ患者に接近せざるを以て也。若し隣患家と交通關係なく感染せし場合は其の傳染經路は他の患家に交通せしか或は輕症患者又は恢復患者の訪問に接せしにあり

(ハ)集團關係　今回本病の大流行の主なる原因は此の衆人の群居集合にあり、彼の學校兒童、會社の罹病者の大なると又は官廳、會社の罹病者大なる等皆此集合對話に非ざるはなし、殊に今回の流行本病は輕症なるもの多く稍重症たりと雖も恢復期速かなるを以て比較的抵抗力衰へず、病毒携帶中出務又は出校し何等意に介せず他の健康者と談話を交換し有病痰沫を飛散せしむる故健康者は不識中此の有毒痰沫を吸入するにあり以上說明せし如き傳染機會は至つて單純なるも患者輕症なるを以て豫防法實行は困難なる次第也

◇誘因◇

秋季は空氣乾燥し冷氣を帶ぶるを以て呼吸殊に咽喉の障害を蒙り易し、殊に街路塵埃飛揚する場合は害之に伴なふを以て今回流行の本病には好機會を與ふるにあり

仁川發著貨物　增加したる

本年一月仁川驛發著貨物品名數量別を以て昨年一月のそれと對照するに近時異狀の增加を來し貨物集散地としての仁川の發展が實に著しきものなるを窺ひ得らる即ち本年一月中の發送總噸數は一萬七千七百七十九噸にして到著總數は一萬二千三百九十四噸之を昨年一月と比較すれば發送に於て四百五十七噸到著に於て二千八百九十一噸の何れも增加を示せり

◆發送　中著しき莫大の數を示せるは原鹽六千百四十噸昨年の千四百九十五噸より見れば二千六百餘噸を增加し穀類にありては米二百五十九噸大豆五百五十九噸外國米百三十噸等にして昨年よりは米百二十噸大豆二百噸を增加せり雜貨類に在りては食料品二百二十九噸にして百二十噸を增し藥品百十七噸金巾二百二噸綿布二百九十一噸燐寸二百二十噸石油五百十噸を算し何れも百乃至二百噸の增加を示せり、

◆到著　品中著しき增加を示せるは大豆一千二百三十五噸にして實に一千噸を增加し金屬類三千五百八十七噸を算して之れ亦昨年同期より見れば二千五百噸を增加せり其他煙草二百三十二噸石炭五百二十六噸木材二百四十一噸も何れも百乃至二百噸の增加を示し一般に漸次總ての發著貨物の著しき增加の傾向あるを窺知せらるべし

米實收額と移輸出豫定數量(慶南)

慶尙南道に於ける昨年の米實收額及び地場の消費額並びに移出し得べき數量を各郡に於て詳細に調査したる所左の如し、但し報告未着の郡に於る同調査は逐次之を掲載すべし(本社晉州通信部)

(種別)	咸陽	泗川	晉州	陝川	宜寧	南海
昨秋收穫米	八三,〇〇〇	八四,一三三	三二〇,六六七	一四六,八〇八	七〇,二〇八	六二,九三三
郡內消費量	七〇,〇〇〇	五一,〇〇〇	[illegible]	九二,七七七	五九,五〇〇	五九,九三三
移出豫定數	一三,〇〇〇	三三,一三三	四六,七七六	五四,〇三一	一〇,七〇八	三,〇〇〇

會寧に勃興せる　各種の起業　五會社

北鮮の國境貿易が工業地として近來衆目を引ける事は人の知る所なるが殊に同地方は炭田に富める一事は各種の工業を誘發せしむる要素となり現に成立し又は成立せんとする會社組織の經營は以下の五會社を算すといふ而も三菱大倉系統に屬するものにして同地が工業地たるの眞價は着々裏書されつゝあり今其主なるを擧ぐれば●神戸瀧澤榮藏氏の經營に成る製軸會社の創立せられんとし又窯業會社は三菱及び大倉の手にて近く事業開始の豫定にてセメント及び耐火煉瓦を製造すべく資本金百萬圓乃至百五十萬圓なりと傳へ尙又會寧炭礦株式會社は三菱大倉系より來り資本金百萬圓にて三菱は原勝一氏大倉は式村茂氏之れを代表し會寧の炭礦主秋重德太郎氏も出資に加はり同地方の炭田を一手に引受けんとの計畫なり其他原勝一式村茂秋重德太郎の三氏及び沼田某等の出資に係る資本金二十五萬圓の木材會社は是れ亦近く創立を見るべく多年の宿題たる同地の低樫會社も愈中村精七氏と式村氏等の合資を以て經營に決し此種工業企畫と共に同地の繁榮を昂進せしめつゝ…晩には一大擴張を行ひ採炭數も年二十萬噸を超ゆべく煉炭製產も十二萬五千噸に達すべき計畫なれば該工事の完成と共に一般燃料の調節を見るや明して疑はざるところなるべし(平壤)

…進捗を見つゝあり現に於ては上三坑を採掘し一年採炭量十四萬噸内外にて煉炭の製産高も僅々二萬五千噸に過ぎざるも…

廠材亦値上

新義州營林廠に於ては去る一月より紅松材一割値上げを實行し二月に入り一般賣下げは中止の姿なるが近く新杉松材の値上げを行ふ前提として來る三月中旬より約五分の値上げを實行する由(新義州)

平壤で 塵燃燒爐見學

商業會議所に於ては豐富なる平壤無煙炭の有効利用に付平壤鑛業所川技師の苦心研究に係る無煙炭燃燒爐に就て實地見學を爲すべく三月一日午後零時三十分會議所に參集寺洞に向ふことなるが希望者は當日會議所に集合すべし(平壤)

採炭卅萬噸　平壤鑛業所の擴張

平壤鑛業所寺洞無煙炭採炭工場は大正九年度末に於て總ての設備完成の豫定にて目下著々其の工事の…

吹の品評會　初めての試…成功

吹報の如く忠南天安郡に於ては輸移出向き包裝米、豆及び叺の品評會を開催したるが此の品評會は同道に於ても最初の試みにて朝鮮全道にても恐らくは未だ其例を見ざるべしとの事なるが内地向き玄米は常に中白米に比し高價なるを以て從來中白米の調製盛んなりし同地方農家も玄米調製熱に驅られその結果天安に集まる米の八割は玄米にして僅に忠清北道管内より中白米の搬出を見るのみなれば此種の品評會の開催は同郡に取りては極めて恰好の施設にして之れより農家の粗雜なる玄米調製法の改善を促すを得べく尙包裝及び包裝方法の指導をもなさば輸移出米豆を農家の手より直接供給するを得るに至るべく同道の誇たる玄米調製の普及も健實なる發達をなさしむるを得べしと(公州)

今後の間島　如何に變化するか

吉會鐵道の實現と天圖輕便鐵道

來るべき吉會鐵道の實現によりて間島龍井市の變動推移が奈何なる運命の下に安定すべきやは同地の前途を目する興味ある問題であつて間島著眼者の意を用ふる所でありて天圖輕鐵は今秋若しくは遲くも來春を期し開通すべきは疑ひなく夫れと同時に龍井市は有利なる位置を擁し著しく發展の一途に進む運命にあるも而も吉會鐵道の開通は局面の轉換を大ならしむるよりして

龍井市の享くる

變動は可なり大なるものとせらるゝであるが一部の地方熟者は之に就て非觀察に區々の說を生じしめつゝあるが一部の地方熟者は實際以上に論及し大體井市の都市を云爲する向もある併しながら背景は分龍の問題にて龍井市の背景を衛く大ならしむるは地域あまりに狹く且つ河川の便は之に添はず東滿控制の市場として地勢に於て定まり大龍井市の建設を望んで得べからざるものとす、さりながら間島地域にありては物資聚散の關係…

意外の變動は或は

なく此機に殺倒するやも知れず而は、大圖輕鐵時代が全盛期なりとするの發展は稍や疑問とし龍井市の急激なる發展と其進境を見るは寧ろ天圖輕鐵時代に存し吉會鐵道の開通後は其局面の廻轉變化と共に龍井市の期待は之れと相容るべくもなく

邦人は千五百名

支那人は一萬五千名を算し此以上の發展は稍や疑問とし龍井市の急激なる發展を見るは…

權を握り我勢力の中樞地として將來現狀以上地位に膨脹する點は疑ひを容れぬ說を做すものは膨脹期に於て…

前途の發展は堅實

大體鑛鐵時代が全盛期なりとする觀察者もあるされど農產市場たる吐が一に龍井市の商權に歸しつゝある現狀より推すも必ずや農產物を基礎として堅實なる上に築かれ吉會鐵道開通後は現出し此一味の繁榮獨占に於て久時形を放ち堅牢なる發展を見るは吉會鐵道の開通後にありとするは説に一致しおれるやうだ(間島)

平壤で新案の　女教員生徒服

生徒服は尚未定

◇教員服は年度替から◇

平壤尋常小學校の女教員は此程平壤服を考案して愈々來年度から着用することに決定したさうであるが形態は「道行」と大體酷似たもので地質は黑の毛繻子を用ひ丈は羽織位の長さで袖口は絞る樣に出來てゐる價格は約五圓位で出來るさうである兎に角小學校の先生は白襟とか墨汁とかの爲に衣服の汚れ易いから斯んな風にすれば非常に經濟で而も服務に便利な上授業上多大の利益を得るであらうと思ふ

女生徒にも体操服

同校では今一つ來學年度から新に女生徒の體操服で之れは又大分形態が試みんと計畫しつゝあるのは女生新しく考案されてある大體から云ふと先づ朝鮮の婦人服と大差なく上衣と袴の二つに區分されてある上衣は日本服の樣に前で上下に合せ袖は廣袖にして夫に紐を通して絞る樣にしてあるから著るにも脱ぐにも至つて便利である丈は普通の袢位で其上から袴を穿くから

◇腰から下は必要がない◇

袴は普通袴の前掛の樣なものでそれを後から前にかけて廻して來て前の方で釦で止める樣になつてるのでありて後は前の方が開く樣に縫うて一寸見ると形になるそれが膝の下で洋袴の形になる様にしてそれから端は靴下を穿いて上げてそれから

極めて便利で足の

運動も容易である前にも云つた如く此の袴は後から前にかけて廻すのであるから普通の袴とは大分變つてゐる今同校の女教員富士氏が其服の裁方と寸法を示したのが

出いて見ると上衣の寸法が袖一尺二寸前後共一尺二寸、衽が四寸衿が一尺九寸と云ふことで裁方は省略する兎に角此の寸法で巾を採つて行くと上下で二丈七尺餘あれば出來ると云ふことで此れは勿論、尋常六年以上の女生徒◇

の價格に合つたものださうな地質は今では未定であるが成る可く一定にしたいとは何れの教員も希望でこれを前の授業服の樣な毛繻子にすると生地丈に六圓位かゝるさうであるその內地質に付いては可及的安價で耐久力の強い質駁の良いものを選定すると云ふことである(平壤)

灌漑用鑿井(江華)

江華郡内に多大の土地を有する進明女學校にては灌漑不便の爲め未だ他に見ざる突拔井戸を開鑿し以て灌漑の用に充つる計畫の下に瑯南局とも打合せ中なるが該突拔井戸は深さ三十尺餘を開鑿せば此湧出る見込にて果して好成績を得ば近く灌漑時には誠に好結果を得るのみならず突拔井戸を開鑿し以て灌漑を充分ならしむべしと

滿洲線貨車入込數

一月中滿鐵線所屬貨車入込數は六百六十九輛にて此延日車三千六百五輛なるを以て一輛平均滯留日數は五日強(奉天)

朝鮮人の買物

好みが贅澤に

なる許りである

本年舊正月の珍らしい現象として朝鮮人の年末年始の贈答品に日本式の品物が多く使用せらるゝ樣になつたと云ふことは當時の紙上にも報道して置いたところであるが近頃では中流以上の鮮人間がウヰスキーなどが非常に多く需用せらるゝ樣になつて來たと云ふことである、これは要するにハイカラになつたと云ふのか內地化して來たと云ふのか一面から考へると贅澤になつたとも云ひ得るが兎に角面白い現象と云はねばならぬ、其の當時も述べた通り從來朝鮮人の贈答品には先づ雞とか雉とか雞卵とかがその主なるものであつたがそれが日本式の贈答品に變つたと云ふ原因の半面には多少經濟上からも打算せられたものが多い樣である、それは近來の樣に諸物價が騰貴して來た結果この種の贈答品に非常な影響を及ぼして雞卵の如きも到底舊來の樣にお安くない樣になつて來た早い話しが雉などは一羽どうしても現在六七十錢は免れないおまけに雌雄の二羽は必ず使用されることになつてゐるから安く見積つても一圓四五十錢の金がかゝるがそれが日本式の菓子箱になると一圓位で一寸洒落に合ふものがあるから隨つてこれ等の需用が多くなつたのもその一因であらう

商況

東京株式特電

二十六日後場引

銘柄	値
東株新	一九七,一〇
同新	一六七,三〇
郵船新	一三二,三〇
同新	一〇一,三〇
商船	九三,一〇
東新	七七,九〇
同紡新	八八,六〇
汽新	二六一,四〇
同新	一四〇,二〇
紡新	一四四,二〇
同新	一三六,〇〇
士紡新	一二三,一〇
日石新	九〇,三〇
横濱取引	前場
新潟製油	一〇七,五〇
北海炭鑛	同六四,五〇
滿鐵新	同六八,五〇
第二新	[illegible]
第一新	[illegible]
東拓新	[illegible]

東京現株中値

銘柄	値
東拓	七九,〇〇
同新	八〇,〇〇
朝鮮銀行	一四八,〇〇
南滿鐵道	二四四,〇〇
同新	七四八,〇〇
第一	一六一,〇〇
第二	三三三,五〇
京城電氣	二〇一,五〇
仁川米穀	一五一,〇〇
朝鮮瓦斯	一八九,〇〇
同	九〇,〇〇
郵船	一五九,〇〇
同新	二三七,五〇
東紡	一〇二,〇〇
同新	一八三,〇〇
朝鮮興業	一〇六,〇〇
寶田石油	五〇,〇〇
横濱取引	八七,〇〇

東京期米特電

當限寄付　一〇六,〇〇
中限寄付　一〇五,〇〇
先限寄付　一〇八,〇〇

大阪株式特電

二十六日後場
寄付　三七,八〇
高値　三六,五一
安値　三六,五一
止め　[illegible]

大阪三品特電

日前場
二月限　三九,二〇
三月限　三九,六〇
四月限　[illegible]
五月限　[illegible]
六月限　[illegible]
七月限　三四,九〇

大阪期米特電

日前場
二十五日後場　　二十五日前場
寄付　三七,八九　三八,二〇
高値　三七,九〇
安値　三七,八二
止め　三八,九

下關期米特電

當限　中限　先限
三九,九　三九,九　三九,一五

兵庫期米特電

日前場
寄付　三九,三三　三九,一〇　三九,〇
安値　[illegible]

雜報

三八,三〇　三八,四〇　三八,三〇　三八,四〇

正米は値安

比日割高沿線地方

鐵道輸出の緩和は意外

低落に招致するへし

白米値下げ

四十二圓

迄引下げ

躍一錢方を引下

比上は値下の除

地の如し

綿布ザリ安

粗布は如三ヱ一票三百十圓

常滑土管強調

上騰せり

分蜜市況沈靜

下關相場

肥料の現況

京城正米

仁川米豆取引所仲買人　齋藤榮之助

仁川正米

期正米の暴落を移

押摺玄米三十四圓二三十錢

釜山正米市場

生魚市場

京城日丸市場

各地商況

○木浦米況　二十五日

仁川期米

二十七日前場(大暴落)

先三十七圓十五錢と七錢安に寄付先四十五錢より

市場雜觀

今の屍拔け的買

定期に繫物續出し自然割高の傾向

鎮南浦筋は正米の輸送に努力の傾向

陷入買方苦戰

大阪前寄

大暴落は東京追證整理の爲臨時休會の入

仁川取引所

廿七日の四月限

北濱たより

大阪商船株

銅株悲觀

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店

▷著作原稿懸賞募集◁

原稿種類
一　朝鮮風俗に關するもの
二　朝鮮歷史に關するもの
三　朝鮮行政法其他朝鮮特種の法律に關するもの
四　朝鮮鑛業に關するもの
五　朝鮮に關する各種出版物
(原稿は內鮮人向を問はず)

賞　金　(壹等)壹百圓(貳等)七拾圓(三等)五十圓
選外の分と雖も出版に適するものに對しては二十圓以上四十圓迄の謝禮金を呈す

審　査　京城日報社及各專門大家に委囑す

〆切期限　大正八年九月三十日

應募規定
(一)原稿は五號四十字詰十五行三百頁以上五百頁迄とし振假名を要するものは振假名付き寫眞、挿畫等を要するものは共に之を添付せらる可し
(二)當選及謝禮金を呈したる原稿の版權著作權は發行者に移る者とし當選外の者と雖も原稿は一切返戾せず
(三)當選の原稿はウツボヤ書店にて出版發行し京城日報代理部に於て發賣するものとす
(四)出版物の體裁及價格等はウツボヤ書店及京城日報代理部に於て決定す
(五)應募原稿は京城日報社に宛て書留郵便にて送られたし
(六)當選發表は京城日報紙上
(七)發行期日は發行者發賣者之を決定す
(八)原稿には月日郵便局…
(九)賞金は發表と同時に贈呈す
(十)鮮人の著作物は其の筋の許可ありし後贈呈す
以上の規定に反せる原稿は審査に附さざることあるべし

京城太平通　京城日報社代理部　京城本町　ウツボヤ書店出版部

汽車發着

京釜線(南行) [illegible]

同(北行) [illegible]

京義線(北行) [illegible]

同(南行) [illegible]

湖南線(南行) [illegible]

同(北行) [illegible]

京仁線(仁川行) [illegible]

京元線(北行) [illegible]

同(南行) [illegible]

毛谷村六助 卅六番角力

百五十五席

桃川桂玉口演
浪上義三郎速記

福島市松は飯櫃へ移すのを見て居りましたが 市『コレ〳〵是れだけか、平素より少いではないか』○『福島さん、貴下は毎時もゴテ〳〵仰しやつて困りますよ、餘程餘計に盛り込んで置きます』市『馬鹿を申せ、是ばかりでは足りぬ、も少し入れて參れ』○『全體貴下方は一人前に三人分も取つてゐらつしやるではございませんか、此の御長家へ來るご飯櫃がこツそり減つてしまひます、御汁を此處に置きますよ』ご大きな桶に味噌汁を入れて提て參りましたが、是も四人分桶に入れて行つてしまつた、清正は此を見送つて大九郎に對ひ 虎『實は身共は當時は僅かいふ生活だが、飯は三度々々賄方から送つてくれる、拙者も知行は二百石の格式だが、無祿も同樣だ、然し飯は二人前づゝ貰つて居る故、その內半分は貴樣に喰はして遣る、それで腹が減らないご云ふなら奉公をいたして居れ、其內に拙者が出世をいたしたら貴樣に五百石遣はす』井上大九郎は呆れてしまつた 大『こんでもない處へ遣つて來た』今考へて見るご木村又藏は恐ろしい目の高い奴だ、五兩貰つて取り逃げこは恐れ入つた、こんなつまらない屋敷に奉公しても仕樣がないこは思ひましたがそんな氣な振は少しも出さず 大『御主人何うも貴下の御氣性が面白うございます手前に五百石遣らうご被仰つたお言葉が何より有難く、依つて何うか飽迄も御奉公仕まつります、若し貴下にお小遣錢が無いご云ふ樣なとがあれば、道中筋へ出でまして假へ人足を働きましても御用立申しますから、何卒お召使ひ下さる樣願ひまする』虎『デハもそつこ此方へ參れ、汁が冷かけた飯を食ろ』福島は笑ひ出した 市『全體何うした譯だ』虎『なアに實はな市松、斯樣々々な譯で今日二人の家來を抱へて參つた』一人は母の病氣を全快させて後より參る 市『フーム、貴樣は家來を抱へるごいが好きだな、主從の契めの盃ごいふ事は聞いて居るが、主從の契めの飯か、まア飯なご澤山喰へ』其內に片桐はフイご其の座を立ちまして何處で何う工夫をしたか一升徳利を提て參りました 助『さア加藤、是で主從の盃をしろ』茲に於て此の二人の周旋によつて井上大九郎は加藤虎之助ご主從の約を結びました、段々加藤は大府家來を使ふこごが上手で、隨分良い家來がありました、第一番に家來になつたのは飯田覺兵衛でございます、此の覺兵衛は元大和郡山の筒井順慶の家來でございましたが力が好きで角力道樂をいたした處から父より勘當され遂に國許を浪人いたし、旅から旅ご角力を取つて廻つて居りましたが、恰度美濃國洲の股川へかゝつて參りましたが、此川は餘り大きい川ではございませんが、隨分急流でございます、見るご川縁に榜杭が立つて居て木下藤吉郎秀吉領分ご記してございます 藤『ハヽア此の邊は信長の所領分であるか』ご思ひながら彼方此方ご見廻して居りますご上手の方から深編笠を冠つて、袴の股立を高く取り上げ、一人の若者が手に綱を攫げ、其の背後から仲間體の者が眞鍮の木刀を帶して尻を端折り、手に魚籠を携へ供をして參りました ○『何うだ八助、此邊には隨分魚が集まつて居るさうだが、此處へ一網投つて見やうご思ふ、貴樣は其の上手の方から魚を此處へ追つて來てくれ』八『ハヽヽつまらない事を云つては叶けません、幾ら追ひ出したつて川底へ沈んで出て來るものか、駄目だからお止しなさい、今日は俺は內職をして居たんだから來たくなかつたんだが、據ろなく供をして來たもの、駄目だからお止しなさい、歸つた方が宜うございます』○『何だ歸れ、怪しからん事を云ふな、ぐず〳〵云ふなら最う貴樣は頼まぬ』ご云ひながら綱を擱いてパッご投ちました。

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城大平通一丁目 電話二三五八番

九星問答

(問)自分の九星を知る事は判りました今が歲は(一)を引き來年に(二)を引くとすれば再來年は(三)を引くのですか (ボンクラ男)

(答)さうです、大正九年は(二)を引き大正十年には(三)を引くので以下累年の引くべき目安を示すこ左の如くであります(二月十九日夕刊本欄參照)

十一年(四)十二年(五)十三年(六)十四年(七)十五年(八)

それから大正十六年には何も引かずに其數が出ますソコで大正十七年から又同じ樣に繰り返すのであります(係)

◎松原榮氏消息 過般總督府及び政友會の囑託を受け滿洲西伯利の經濟狀況調査中なる京城の松原榮氏は目下哈爾賓埠頭區トルゴワヤ街三十四號地に寓在中也

人參エキス
京城本町壹丁目 電話一四八〇番 八七〇番
ツ 津村兄弟商會

三月一日 (舊一月廿九日) 土曜 みづのえ(壬) 大安 ひらく ▲八せんの入り

▼四綠▲周到の注意を要すべき日
▼五黄▲兎角横槍の來さうな日也
▼六白▲世話の仕甲斐のなき日也
▼七赤▲りきみ甲斐のなき日なり
▼八白▲諸事意の如くならぬ日也
▼九紫▲慶びの降り來る如き日思ひ立ちし事は進んでなすに利あり
▼一白▲ゆるやかなる、のんびりしたる日なり消極的の事に利あり
▼二黒▲合點の行かぬ事ある日也
▼三碧▲幸福の日なり殊に共同事業に有利なる日にして萬事に吉也

産科 婦人科 二宮醫院
京城壽町 電話一二〇一番
醫學士 二宮亮吉

資本金六百萬圓
積立金 繰越金 金百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黄金町一丁目 電話四一〇番 五八〇 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目(本町より入る中央) 電話二一〇二番
內地旅行中の處歸城診療に從事す

皮膚を柔く白くする
美乳クリーム
長所と長所の學理的抱合!
美乳クリームは今迄使つたクリームの中で一番妾を滿足させた、コンナ良いクリームが日本に出來るやうになつたこは化學の力を沁々嬉しく思はずには居られません、斯樣に美乳クリームの常用者は口を揃へて仰有います、併しそれに何んの不思議がありませう、美乳クリームは日本に初めて出來た美乳のあの強烈な白色素を基礎こして更に皮膚を天鵞絨の如く柔くする秘劑を加味した最新美容料――長所ご長所この學理的結晶でありますから之を常用すれば生地を白くし皮膚を柔く滑かにするのも道理です、加之動物性脂肪を絶對に加味しませんから白粉下こして決して化粧崩れせず、さらりこした癖の快味は口で說明が出來ぬ程……。
本舗 美乳本店 矢野芳香口

內外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番
高井醫院
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彦
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

お化粧問答

(問) 腋化粧するこ色が白くなるご云ふ事は本當ですが、其方法を。(尼崎 春枝)

(答) 寢化粧を續けますご幾分色は白くなるやうです 其方法は別に六ヶ敷い事もありません、矢張り一番よくきくアレ止め愛用の白粉下クラブ美身クリームを薄く塗つて、其上へ高尚で綺麗な艶の出るクラブ固煉白粉を襟から顏へかけて割合に濃目に塗ります(お顏は固煉白粉をクラブ化粧水で薄く解いてお塗けになるがよろしうございます)、そして其儘お寢みになり、翌朝御洗面の際クラブ洗粉で丁寧に洗ひ落します。此方法を續けますご翌日お化粧なさるにも非常に樂に綺麗につきますし、毎晩缺かさずお續けになりますご、色は確かに白くなるやうです。

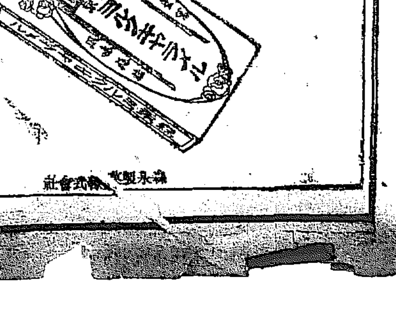
一等と一等は齒磨き
クラブ齒磨
品質一等
效力一等
販賣增加率一等

京城日報社編纂
最新書式大全
極美製本 九百頁 定價參圓八十錢 送料郵税
各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書、始末書、度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水產、農林、銀行、鑛業ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト內地共通ノ書式テモ揭載シ一々關係法規論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ニ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携ナリ
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六〇〇九番 京城日報代理部
取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

眼科專門 入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭富雄
日曜祭日午後二時迄

スワン萬年筆
宮內省御用品 本品の品質は既に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の胴部には SWAN の英字刻印押捺せり
到所の文具店にあり 競爭販賣中買人の横暴な時最も安く販賣店に乞ふ 御用命日錄無代進呈
大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

感冒に
咽喉の保護に調節に
身体の保温に強壮に
森永ミルクキャラメル



森永製菓株式會社

京城日報

[illegible]三千五百二十七噸の減少を[illegible]同月分に比するときは一萬[illegible]
[illegible]陸續することを得たりしなり今歳客及び貨物の運輸狀況に付き其概要を記さんに次の如し
[illegible]の減少を及前年同月分に比較すれば四千七百四人三千二百五十九圓の增加を示たり而して前月分に比し如上の減少を呈せるは畢竟季節[illegible]國境方面に嚴寒行軍のため輸[illegible]貨物間の乘車をなせる等主なるものとす
[illegible]月分に比較するときは五千二百五十三噸八千四百九十六圓の增加を示せり之れ畢竟客年米穀物輸出禁[illegible]間もなく解禁[illegible]るに到りて[illegible]則の如き[illegible]滯貨は實に六[illegible]從來の[illegible]に恢復し[illegible]
[illegible]從事せる牛車は其の[illegible]外業に從事せざること[illegible]防過の爲[illegible]必要に應じ交通を遮斷せる爲め[illegible]
[illegible]四百五十噸增千[illegible]百六十一噸[illegible]百十六噸金物類百八噸[illegible]八千九百[illegible]仁川南大門[illegible]鐵製品[illegible]洋紙等主なるものに[illegible]

海上權の推移（上）

戰後經營の第一着手として各國の貿易戰は漸次開始されんとする趨勢に在る此の貿易戰の先驅として竝び喚起されたものは海運界の[illegible]策は最も明瞭に此傾向を示して居る、現在に於ける各國の船舶數は幾何なりやと云ふに戰亂の勃發した大正三年末に於ける世界船舶の總噸數は四千三百八十七萬二千四百六十噸であつたが其後戰亂中喪失した高が四百五十萬噸に達し一方英米を始め各國の造船能率も著しく增大して多數の船舶が建造されしに拘らず昨年末の調査に依る世界船舶總噸數は三千九百八十九萬千六百六十五噸にして尚ほ差引三百六十八萬七百九十六噸の減少を來して居る試みに之を各國別に示すミ

	大正三年末	大正七年末	差引增減
英國	二〇、五二三	一七、〇二三	三、五〇〇減
米國	四、三三〇	七、七七七	三、四四七增
獨逸	五、一三四	二、三五五	[illegible]減
日本	一、七〇八	二、二〇〇	四九一增
諾威	一、九五七	一、五七三	三八四減
佛國	一、九二三	一、四九八	四二五減
伊國	一、四三〇	一、四四六	一六增
和蘭	一、四七二	一、三三八	一三四減
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
丁抹	七七〇	六八二	八八減
西班牙	八八三	六七八	二〇五減
希臘	八二〇	五七八	二四二減
計	四三、八七三	三九、八九一	三、九八二減

以上の統計に依る時局中船舶噸數の增加したのは米、日、伊の三國にて其他は總て減少を告げて居る減少高の最も著しいのは英國並に獨逸であるが英國が戰時中三百五十萬噸ミいふ巨額の減少を來したが尚依然として各國中の第一位を占有せるは今後海上權の依然同國の掌握するものなるここを明かに語つて居るのである、米國が戰局前に於て纔に四百三十三萬噸なりしもの、近々四箇年間に三百四十四萬七千噸を增加して七百七十七萬七千噸の船舶を保有するここゝなり獨逸を凌駕して世界第二位に進みしは最も注目に價するここであらう世界に於ける貿易の增進するに從ひ船舶の需要も亦增加すべきは素より自然の趨勢であるが是の貿易の增進に伴なふ船腹の必要高は最近の綿密なる調査に基くミ一箇年二百五十萬噸の割合である、是の割合で行くミ四年間に一千萬噸の船舶を必要ミするのであるが是に時局中に喪失したる總噸數四百五十萬噸を加算するミ一千四百五十萬噸の船腹を今後四箇年に增加する必要に迫られて居るミ云ふのである而して之に對する各國の造船能力は如何にミ云ふに造船事業の要素は造船設備、材料供給、勞力の三點から考察して掛らねばならぬ、假りに英國ミ米國ミ日本ミの三箇國に於て之が比較をして見るミ、英國は造船設備も完全し材料の供給も豐富にして勞力の點に於て米國よりは遙かに有利の地位に在つて所謂三足具備の優勝を誇り得るが、米國は造船設備ミ材料供給の點に於てこそ英國に劣らぬが勞力の點にて非常の不利の地位にある

烏堂氏の『俳句の趨向に就て』を讀みて

詩夢莊生

十一

『我等の俳句』は厭離解のものなり。

寒の古里人の柿樹間の乾き　阿岐良

ひこりものごうでも眞面目で鯨の海が見ゆごる　浮碧樓

等擧ぐればいくらでも他に其の例あらべし。吾等鈍根にして口誦數十遍するも句の意義をすら、捕捉するここ能はず。仕舞には新聞紙を擲り出してキョトンたるもの之を久しうするここ無然り。句の樸に抱かれむとして能はず句ミ融けむとして[illegible]ばず烏堂兄の所謂世間味をちこ味はふ氣になつて見ても力到底及ばず。近來はハヽン又例の瞰ミいつたやうな風になつて拜讀せざる場合少からず。有體に云へば吾等は、此の如くに『我等の俳句』を見る。

十二

英遮『我等の俳句』は一種のものなるべし。時々散文めける場合あり然れごも勿論詩として非難すべからざるものも亦少からず。只或る種の散文を讀む時往々にして吾等は其一節を讀み返し只見るここに依て『我等の俳句』中のものなりこおもふ場合あり。

寂しい夕方が空を眺めて居る細君の室の爲に置た細い色の[illegible]　[illegible]源氏物語[illegible]の一節

少し出た山が照つて氣きら〳〵と光る　同　野分の一節

鏡の中から盛りの櫻が花ばかりな顔はしたやうなさう云ふ人である　同

十三

是等は今只手に任せて書架を探るに依て得たる所なるのみ。他に適切なる例はいくらでもあり得べし吾等は『我等の俳句』を更に繼續展開すべきものとして、且つ必ずや更により平易なる一種の詩として落付く處に落付くべきものとして將來に囑望す。『我等の俳句』は單に季題を捨すといふの點に於て俳句ミ共通の點を見出し得るのみ。俳句ミ立場を異にし、步み方を異にす。想に於て俳句より更に狹隘に調に於て多くの場合俳句ミ一致點を見出すここを得ず『我等の俳句』は恐らくは所謂非句其もの、當然の趨向には非ざるべし。

十四

以上吾等は烏堂兄の『俳句の趨向に就て』を讀みて云はむミ欲する所を纔かに云ひたりこいふのみ。『我等の俳句』は之が爲めに何等輕重する所なかるべし。吾等は敢て烏堂兄に戰を挑まむミするものに非ず。切に五の月十の日今諸兄の健在を禱る。（了）

財界の新舊人（45）

鐵鑛業家 麻生音波君（下）

西海生

麻生

麻生君は大分縣郡部の出身、元治五年に生れてゐる、明治十七年工手學校の採鑛冶金科を出で、內地の各大鑛山に勤務してゐたが、三十七年渡鮮、遂に獨立して安岳鐵鑛の經營を開始し、七轉八到り曲折を經、遂に今日に至つてゐる君の性格が複雜にして往々人の意表外に出づる如く、君位數奇にして波瀾ある經歷を有する人は甚だ多くないであらう。

▲鐵鑛山に對する君の鑑識は專門の學問もしてゐるし、多年の經驗上、極めて慥なものである、君の見込は外れぬ、新進の學者や、好いミ見込みをつけたら殆んごその學府を出た技師にも君は多くの權威を認めてゐるない、實際鑛山の探鑛は學問や推理のみで通せるものでないらしい、全山を觀破る銳敏な直覺、それが最も必要である、內地の大鑛業家が立派な肩書を有する技師の多くを朝鮮に派遣し、常に探鑛を繼けつゝあるに拘らず、良鑛質の鐵山を容易に得能はざるはそのためであらう。

▲君は又決斷が早い、思ひ切りがよい、非常に大膽である、鑛山の買收を申込んで來るものがあればその要點を聞き見本を視、君は少からぬ前金を渡し、見不轉でその買約を整ふる事が多い、五つの山を見不轉で買つて、その內一つ物になれば、四つは直ちに見切つても、それで結局算盤に合ふこは君の信條らしい、事實又算盤に合つてゐる、左樣な危ない綱渡りは到底君でなくてはなし能はざるこミであらう。

▲その言行多少矯激に走る嫌ひはある、君を敵とすれば烈しい戰鬪力を有つた恐るべき敵であり、味方として其の俠氣もあり涙もあり、眩ミ云つたら頼りにならぬ肌合らしい、此の性格が兩方共に激烈に現はれる事があるため、怨うかするミ君は一般より誤解を受け易い、君は隨分大きい事を云ふ、然しその大きい事を實行し得る手腕を有つてゐる、唯多少その性格に粗い所がある、餘りに大マカな所があるこれ君に著實細心な股肱を要する所以である、昨年來支配人や技師や鑛山主任に官邊の推薦を受けたり、又は自己の鑑識にて適當の人材を据えた樣であるから、君の性の缺點は補足されたであらう。

▲本年以降、君の利得する額は莫大ミ思はれる、然しよく公共的面散じて行く考へを有つてゐる、君は儲けた金を有意義に使ふ事をその快樂としてゐるやうである、多少金が出來れば社會改良の施設に使ひたい、差向き京城に於ける不良少年の救濟の如き事業に投じたい考へを有つてゐるミ或る人に漏らしたさうであるが、居常劇物を嫌むるに拘らず、左樣な方面にも密に意を用ゐてゐるのは異數ミ稱して可、花柳界にも以前は盛んに活動したが、近年は餘程跡を消してゐるやうだ。

▲製鐵は國家的の事業、內地の製鐵に對する朝鮮鐵石の位置は頗る重要である、記者は吾が朝鮮鐵自給上より云ふも、君の如き猛烈な奮鬪力を有する人士の盛んな活動を大いに期待するものである。

五色饅頭

劍花坊

餅屋は餅屋、すこしく川柳について云はして貰はう。

川柳ミ狂句ミは、ごうちがふかミ云ふ問をよく受ける、川柳ミ狂句がちがふのでは無い、今日まで狂句ミ云つてゐた非藝術な非文學な川柳ミ、我々が唱道する、宣傳せんミする藝術的な、文學的な川柳ミちがふのである、川柳ミいふのは人の名で、現に今日まで其非藝術な川柳ミいふ號をつけてゐた。川柳（ミ云ふ字が穩こいのでは無い、我々が扱ふ川柳が穩こいのだ、狂句こいふ字が鄙しいのでは無い、お[illegible]の非文學な、非藝術な川柳（ミするものを）扱つてゐた輩の狂句が鄙しいのである。

川柳でも狂句でもいゝでは無いか、こいふ議論は、川柳家では無いが、川柳を扱つてる岡田三面坊士や、前田曙山老人（ミ云つてら若いが）からよく聽く。

現代科學
革新號　第七卷第一號　定價一冊金卅五錢
本誌革新に際して　一戶博士
宮戶嶋の先史遺跡　早阪理學士
藏王山の周期的活動　日下部博士
蛋白質の眞容に　永井醫學博士
石炭の乾溜　龜高理學博士
鮮人の人種的解剖學的研究　久保博士
科學史料　伊藤理學博士
理學博士　一戶直藏主幹
最近研究　天文　一戶博士、小倉學士擔當　地學　松本學士、渡邊學士擔當　生物　[illegible]理學博士、高橋[illegible]擔當　理化　[illegible]學士、岡谷學士擔當　應用科學　富永學士擔當
懸賞募集　論文　科學小說　文部省檢定試驗問題解答　詳細の規定は誌上にて發表！
東京京橋區南鍋町・大阪南區三休橋　株式會社大鐙閣　振替東京三三六八・大阪一七一五五　大阪屋號書店

電球と乾電池　製造販賣
山陽電氣商會　京城黃金町三　電話一四二

實驗鐵冶金學（新刊）
男爵後藤新平閣下題字　京都帝國大學總長醫學博士荒木寅三郎先生序　醫學博士岸一太先生著
◎見よ醫學博士の我工業界に於ける破天荒的偉業を！飛行機の岸先生を知る者は其製鐵學に關する最新の快著を讀まざる可からず！
上卷（中、下卷近刊）四六倍假裝背冊　紙數三百卅餘頁　正價參圓五拾錢　郵稅拾八錢
鐵の自給自足策!!　之れ這回世界的大戰亂に際し吾人衷心の要望、痛切なる絕呼たりし也、然も其聲の徒に大にして實績の徵すべきもの渺く僅かに歐米の模倣的經營に甘んず何んたる恨事ぞや、著者は刀圭界一方の重鎭なり、我製鐵業の現狀に慨し、鋭に城東赤羽の野に一大工場を創設し我國産鐵の獨創的研究と徹底的試驗に沒頭するに至る蓋し一世の側目する所也。本書は實に斯の如き著者が科學的見地より我が國産鐵に對し最後の斷案を下さんとする研究の第一步を語るもの一言一句明細なる頭腦を通ぜる實見の結果たらずんば非らず、學者製鐵業者は勿論苟しくも「鐵」問題に交涉ある人士は本書に縋りて始めて斯術の最新知識を獲得することを得べく時代の生める世界的著述と云ふを愧ぢず。邦家の爲め速かに一讀を乞ふ
東京市日本橋・大阪心齋橋筋・京都三條通・福岡上西町・仙臺國分町　丸善株式會社

◎生徒募集
本年四月入學セシムヘキ一學年生徒約百名若クハ約百五拾名ヲ募集ス、詳細ハ當月三十日以後拾日ノ朝鮮官報又ハ當該學校ニ就キ承合スヘシ
大正八年一月
京城中學校
釜山中學校
平壤中學校
龍山中學校
大田中學校

競爭入札購買　朝鮮總督府遞信局
二百磅硬銅線[illegible]貫外七厘　詳細ハ二月廿八日ノ本府官報ニ在リ

最新刊
最新鑛山と鑛業法
鑛業家の大活躍の好機
東京鑛務署長　中村淸彥君序文　鑛業[illegible]督官補　岩永三郎先生　東京鑛務署技手　丸山慶夫先生共著
菊版六八〇頁　定價壹圓　送料十錢
東京神田南神保町　太陽堂　振替東京三二七二五
本書は先づ探鑛に關する諸般の注意より地層鑛床其他有ゆる事項を揭げ尚ほ有用鑛物及岩石は悉く其の外觀識別の方法、産出狀態、産地用途等を記したるものにして本書に依れば鑛物學の全般に通じ尚ほ至難とする鑑定の如きも容易に且つ正確になし得べく鑛物學者として最も要を得たるものなり、然して內地は元より朝鮮其の他[illegible]に至るまで有ゆる法規及申請手續等を收め特に鑛業去令には註釋を加へ申請手續には一々樣式を示し尚ほ諸會社の買鑛規定をも[illegible]
別に參考用鑛物標本四十種箱入實價[illegible]送料三十五錢にて販賣す
賣捌　京城本町一丁目　振替二七九二番　大阪屋號

洋酒　食料品　罐詰
歐米より新輸入品續々入荷致候ニ付多少ニ不拘御用命被仰付度奉願候
大日本麥酒株式會社專屬販賣店
帝國鑛泉株式會社專屬販賣店
鷲印及人形印煉乳特約店
金線印煉乳關西發賣元
ラッパ印煉乳發賣元
三矢ポートワイン發賣元
直輸出入商
神戶市元町通四丁目　吉川商店　（振替口座大阪一〇六四）

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

第四十一回帝國議會

衆議院本會議（廿七日）

平元線建設案可決

午後一時十五分開會議場寂寥なるも傍聽席は滿員なり劈頭
執達吏規則中改正法律案（第一讀會）
執達吏手數料及立替金增額に關する法律案
右二案一括豐島政府委員說明委員附託
結核豫防法案（第一讀會）
トラホーム豫防法案（第一讀會）
二案一括内相の說明あり精神病法案と一括委員附託
農工銀行法中改正法律案
日露語學校設置に關する建議案
松本鐵道建設に關する建議案
農務省新設に關する建議案
農工銀行補助法第七條實施に關する建議案
東邦調査局設置に關する建議案
以上五案何れも提案者の說明あり夫々委員附託となる
委員長伊東知也氏（國民）報告通り可決々定次に
朝鮮平元鐵道急設に關する建議案
委員長の報告に移り一宮房治郎氏（政友）登壇本案は朝鮮西部商工業の中心地たる平壤より東海岸の商工地たる元山に接續する百六十哩の鐵道を新設せんとするものにて提案者より裏日本と滿洲山東省とを連捗せしめ朝鮮の交通政策上重要線なる旨說明あり政府亦議を經ざるも朝鮮總督府にては大正九年度より起工すべき旨言明し陸軍當局亦本線の必要を明言せり委員中本鐵道完成後の利廻りに就き不滿を表されたるものあるも結局全會一致可決せりと述べ委員長報告通り可決々定次に
伊萬里佐世保線間鐵道建設に關する建議案
羽越横斷鐵道建設に關する建議案
若松柳津間輕便鐵道建設に關する建議案
外請願十三件何れも委員長報告通り可決二時半散會せり（東京特電）

◇講和豫備條約

五月中旬迄に調印を見ん

佛國外相ピション氏は語つて曰く講和豫備條約は五月中旬頃迄に調印を見る運びとなるべし尤も是等豫備條約は聯合國が締結せんとする講和條約の大本を明記したるものには非ざるなり獨逸將來の運命及び海軍問題は未だ講和會議に於て一指だも染め居らず佛國政府に對する政策に關しては議長クレマンソー氏が狙擊せられたる時殆ど協定を見んとする迄に進捗し居りたれば今後クレマンソー氏にして講和會議に出席し得るに至らば差たる困難無く解決さるゝに至るべし（巴里電報）

◇國際聯盟の效力

ロバート、セシル卿曰く聯盟は豫備條約調印の上直ちに確立を見る可きも其效力は講和會議に於て滿場一致可決を見たる上初めて現はるべしと（倫敦電報）

◇勞働法案行惱

國際勞働法制定委員會は英國案に就き難關に逢著せり英國案は勞働者は其欲する所に從ひ一國より他國に移住の自由權を有する事を主張するものなるが米國は强硬に反對し外國勞働者を排斥せんと努め居れり（巴里電報）

◇獨艦隊擊沈抗議

佛國は金屬類、機械類缺乏に鑑み獨逸艦隊擊沈に關し强硬に抗議す可く佛國總理は絕對に之に反對し獨逸艦隊大部分を受領せん事を固執す可しと（巴里電報）

◇巴威議會活劇光景

ミュンヘン擾亂の巷と化す

巴威首相アイスネル氏と同列し居たる社會黨大臣ライトネル氏も負傷せり其後巴威議會に於て起れる活劇の模樣に依れば兇漢は内相アウエル氏を狙擊したる後議員の間に跳り込み續けざまに大臣席に向つて發砲し又傍聽席よりも數發發砲したるものあり此騷擾中司法大臣シンム氏も貫通創を負ひたるがシンム、アウエル兩氏共生命覺束無しと倘ほミュンヘンは全く擾亂の巷と化し軍司令部も現下の混亂を鎭定するの術無き旨を認め今にも流血の慘劇續發せんとす（倫敦電報）

◎全北の大水利

四月より實地着手

全北[illegible]大水利[illegible]四月より實地着手[illegible]て該計畫を協議せしが其内容は現在の兩組合水田五千四百町步の外灌漑せんとするものにして約二百五十萬圓を要し五箇年計畫にて此工費[illegible]萬頃江の下流干潟二千六百町步[illegible]總督府よりも補助[illegible]

仁川米豆取引所

二十七日の四月限　二十七日（四月）二十[illegible]

仁川期米

二十七日後場　各地入電未著なるも前場大阪の暴落に加へ[illegible]に追擊され十錢より更に十錢と返し安値は買物ありて六錢と返し散會

後場中限[illegible]

◇ス國政府軍衝突

エッセン來電＝ルール地方（獨の西南部）に於ける三十五箇所の鑛山は武裝せるスパルタカス團の爲め閉鎖せられたるより政府軍は討伐に向ひたるがスパルタカス團は頑强に抵抗し各所に塹壕を築き更に政府軍に向つて進擊しつゝあり（巴里電報）

◇ヨハイム親王捕縛

ミュンヘン來電に依れば獨逸ヨハイム親王は陰謀の嫌疑に依り捕縛せられたり（巴里電報）

◇ウ氏ボストン上陸

ウイルソン氏は廿四日警官の嚴重なる警護の下に群衆喝采裡にボストンに上陸せり氏は講和會議に於る各國民の要求の穩當なるに感動せり歐洲各國民は現政府が國民の意のある所を行はざれば他の政府をして行はしむ可しと陳言せり余は米國民が國際聯盟を支持する事を信じて疑はずと述べ直ちに華盛頓に向け出發せり（ボストン電報）

◇ウ氏に對する陰謀

ウイルソン氏に對する陰謀發覺し西班牙人二十四名は二日夜逮捕されたり（紐育電報）

◇飛行機新發動機發明

ラトウ博士は飛行機新發動機を發明せり同機は昇騰力大にして巴里アルヂエリア（北亞弗利加佛領植民地中最重要地）間を五時間にて飛行し得可し（巴里電報）

◇大戰と土軍損失

今次の大戰に於て土耳其軍の被りたる損害左の如し（巴里電報）
戰病死者四十四萬七千人▲負傷四十萬八千人▲俘虜十萬四千人

◇阿國王弟即位

印度政府公表＝阿富汗斯坦王暗殺され同王弟ナイブウス、サナタナ、ナスララ汗王位を繼承せり（東京特電）

◇東京期米暴落か

遂に立會不能

廿七日東京定期米市場は買方崩れ果追敵き不可能の爲め買方投物續出の傾向ありて大暴落を演ずべしとて終に立會不能と成れり前場第一節のみ立會ひしが先物三十六圓五十一錢倘又深川正米市場も一氣に一圓の大暴落せり（東京特電）

◇勅使日根野侍從一行入城

（向つて左より）勅使日根野侍從、皇后陛下御使三室戶皇后宮主事

◇諾威代理公使

諾威代理公使ジエー、アイツセン氏は廿六日午後五時入城滯中の爲め通去せり（東京特電）

◎國葬參列代表者入城

▲野田遞相　遞信大臣野田卯太郎氏は國葬參列のため二十七日午後九時二十五分南大門驛着列車にて入城朝鮮ホテルに入れり出迎ひありたる諸氏は…

▲古賀長官　拓殖局長官古賀廉造氏は野田遞相と同行二十七日入城朝鮮ホテルに入れり

◎良耕作免許地域

總督府令施行規則に依り大正八年度に於て良耕作免許せらるべき地域の指定は二十七日官報を以て左の如く告示されたり

▲京畿道　高陽、始興、水原、安城、龍仁、坡州、廣州、抱川、漣川、加平、楊州、長湍の各郡
▲忠淸北道　忠州、淸州、槐山、堤川、丹陽、陰城、鎭川、忠州の各郡
▲忠淸南道　公州、大田、論山、扶餘、保寧、靑陽、瑞山、唐津、永山、牙山、天安の各郡
▲全羅北道　益山、全州、金堤、邑山、南原、任實、淳昌、茂朱、長水の各郡
▲全羅南道　羅州、和順、谷城、咸平、靈光、光陽、寶城、海南、長城、求禮、長興、順天、靈巖の各郡
▲慶尙北道　大邱、達城、醴山、永川、慶州、迎日、英陽、靑松、安東、義城、軍威、醴泉、金泉、尙州、醴泉、榮州、奉化、星州、漆谷、淸道の各郡
▲慶尙南道　蔚山、昌寧、河東、居昌、咸陽、山淸、昌原、金海、密陽、梁山の各郡
▲黃海道　延白、新溪、海州、平山、谷山、長淵、松禾、殷栗、瑞興、遂安、信川の各郡
▲平安南道　中和、成川、德川、孟山、陽德の各郡
▲江原道　伊川、金化、春川、洪川、横城、原州、平昌、寧越、旌善、淮陽、鐵原、麟蹄の各郡
▲咸鏡南道　咸興、高原、洪原、北靑、新興、利原、甲山、三水の各郡

◎地稅附加稅市街地稅附加改正

地方稅賦課金中地稅附加稅及び市街地稅附加課稅の課率は今回總督府訓令を以て改正せられ地稅附加稅は地稅百分の十、市街地稅附加稅は市街地稅十以內に於て之を定むる事となれるが特別の事由ある場合は此制限外に出づるも差支へなき事となれり

◎車中に於ける野田遞信大臣と古賀拓殖局長官

遞信大臣野田卯太郎氏は二十七日夜入城した、平澤驛に迎へ列車の旋終に聯結した展望車に入ると遞相、拓殖局長官の古賀廉造、前李王職次官小宮三保松の諸氏あり、遞相は曰く『二年四箇月振りの朝鮮入りである俳句かい、東海道の振り出しから大分出來たが餘り發表するとボロが出るけんね『流石なり秀で！高麗の春の山』はどうだ

▲久方振り　の朝鮮入りの感想だ、李太王殿下を悼み奉る句は『諸行無常、梅に雫の高麗の旗』よく出來て居りますぜ——と云つてゐると、傍から古賀長官が『梅だつてまだ朝鮮には雪を見る、梅なぞ咲くものかい』と交ぜ出す——すると、遞相は『無かこんな俳句でも咲かすのが腕かこだぜ』いつか平山の演壇で古賀長官の關係せる干潟地開墾事業の話が出る、長官は『あれは名前を貸したのだつた、それでも關係者で二萬圓餘りも出し、いくらか事業も進んで七十石かの籾を取るやうになつてゐたが、その後水が足らぬか何かで全部は都合よく行つてゐない』と話し出すと遞相は『古賀さん實業なら失敗に極つてる』で大笑ひ一切遞相や小宮氏の間に鮮人の米に對する

▲恩惑熱の　盛んなのは困つたものだと云ふ話が交、るとアト誰かが遞相に體量を聞くと、『去年あたりから少し肥て、先日豐山で量つたら百八十五斤あつたぜ』と、小山のやうな目方を揺つて大笑ひ、古賀長官も『僕も二十貫を超ゆるが、かう肥ると拜々困る、野田さんは超人的の別格だが……』と遞相を普通の人間國外に押し出さうとすれ、遞相はそれに答へず『古賀君はこれで浪花節の本家本元だが知つちよるじやらうね、國葬參列でなければ京城で

▲一席所望　と云ふ所だが今度はさう云ふわけにも行くまい、惜いものだ』で長官は一言なかるべからずとあり『僕が浪花節をやるやうに目れるのは誤りだ、唯僕は浪界の興隆には盡した、然し自分では語らん、明治三十五六年の頃、東京の寄席は女義太夫全盛で、書生の如きは女義太夫の後押しをすると云ふ始末、風儀上大に面白からぬと云ふので、同志を語らい女義太夫壓迫の爲め浪花節の流行をさせたのである、それ以來吾輩は浪花節を語るやうにされた觀もあるが、事實は相撲道に於ける古田家の如きものに過ぎぬのさ』と力說してゐる、軍浦驛の停車中本社の寫眞班が遞相長官小宮氏を並べて撮影せんとすると、長官は曰く『マグネシウムを焚かんでもよいだらうね、何故ならば車中が多數點いてゐる』しそれに

▲斯う禿頭　が並んでは必要はなささうだが……』など三禿頭相顧みて大笑ひ、蘭はどうです——と車中の一人が遞相に聞くと『此頃は東京でん依賴が多くて書けんね、京城じや一枚も書かんぜ、新聞で斷つちよいて呉れんかね』『蘭と云へば此頃眞似手が多い、陸相の田中がチヨイ／＼書いて乃公に見する、床次内相も書きよる、小川平吉もやり出した、然し悉く師匠の乃公から見りやなつとらん——』時には眞面目な話も出て南大門に近づく頃には各驛から遞相出迎への人が多く乘り込み車中雜沓した、序で遞相並に長官の一行は選擧法改正案の下院上程、陪審案の上院上程の關係上四日の朝に出發するさうである。

◎京仁線複線決定

第二期鐵道敷設計畫中に加はる

總督府に於て企劃せし朝鮮鐵道第二期敷設計畫は屢報の如く平元新設京釜及び京義兩線の複線敷設等なるが同時に

▲京仁線の複線　をも起工し以上を以て略は第二期計畫の一段落となる可き豫定なり而して此の全建設工事費は平元線三千五百餘萬圓、京釜、京義、京仁複線工事費八千五百六十萬圓（車輛費を含む）總計約一億一千萬圓にして右工事完成の曉は既成線及び目下工事中の咸鏡線百五十哩を合して二千百卅五哩と成る可し而して京仁線の複線は永登浦南大門間は既に複線なれば永登浦仁川間十八哩の複線を起工すべく該線は地域も既に複線式に依るべく豫定を以て取擴めあれば容易に竣工すべくされど京釜、京義、京仁中何れの

▲複線を先きに　すべきやに就ては未だ何等の決定を見たるには非ず又以上の計畫は當局としては方針の決定に過ぎず當局として成る可く同時に起工せんとする希望なるが如きも財政上之れが理想は實現し難く諸種の關係を考察して必要のものより順次起工する事となるべきが平元線を第一着に起工する事は動かすべからずと

◎仁川取引所存立期限延期

仁川米豆取引所が本年三月を以て存立期間滿了するを以て尙ほ向ふ十箇年間之が存續延期を其筋に出願中なりし事は既報の如くなるが愈存續延期に決定したるを以て近く兩三日中之が許可の指令あるべしと

◎今關天彭氏入城

支那漫遊中なりし元總督府囑託今關天彭氏は漫遊を終へ東上の途次二十六日夜入城目下滯在中なるが國葬終了後出發東上すべしと

人事消息

▲米村正三郎氏（宮內大臣秘書官）廿七日夜入城天眞樓へ
▲谷田少將　同夜退城內地へ

鳥瞰錄

去年の米騷動の京阪地方の暴動の發端と云へば聊か舊い話だが其の發端が實に馬鹿々々しい事から起つて居る▲米騷動の裡には何でも大事件が潜在して居る樣に大袈裟に云ひ觸らす者もあつたが一向つまらぬもので一體物事は洗ひ上げて見ると頓だ滑稽が飛び出して最後は大笑ひになる事が多い▲之れも其の一つに屬するものであつて京阪米騷動の最初の火蓋は京都の特殊部落民であつたが其の原因は人を笑はせる樣な事からだ▲と云ふのは或る部落の貧乏な老爺が米が高いので全く食ふ事が出來ず何とか方法をつけて貰ひたいと救助方を其附近の巡査駐在所に申出た▲處が此老爺は耳の上に聊か遠いので巡査も大いに手古摺つて種々話して見たが何としても聞えぬ▲其處で止むなく大聲で話して聞かしても老爺頑固で道理が別らぬ▲巡査は役目で同じ事を繰返し／＼說明しても未だ別らぬ別らぬから困つて大聲で怒鳴つた▲此馬鹿氣た事件が何事かと不審して部落民は四方から集まつて來て駐在所を取り圍んだ▲其の中に巡査の云つた事が氣に食はないとかいけないとか何とか云つて障子に石を投げた者があつた▲面白半分に群集はワイ／＼云つて背後から押す押されて前の者は障子戶を押し倒したりして一寸の隙も無い事から着けられた螢の火のやうな火が燎原の火となつたとはほんとに馬鹿々々しい事だ

一、電話交換用外電話用品廿武點 右購買ス詳細ハ二月廿七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

生徒募集　第一學年生徒百名一學級募集 詳細ハ本校ニ就キ承合スベシ　京城府蓬萊町四丁目六番地　財團法人　養正高等普通學校

購買　朝鮮總督府遞信局　入札　四千本　一四尺腕木　詳細二月廿八日ノ本府官報ニ在リ

京城府鍾路通五丁目前李道興商店に對する當府の債權者は來る三月十日迄に京城府鍾路通二丁目金東股商店へ御申出相成度候　李道興商店整理事務所

家庭用絞り機械　各種荷著!!　並に陶器及附屬品　金銀粉染料品揃　ミツワ販賣所　家庭藥　京城本町二丁目三番地　木下藥房　振替京城一五四〇番　電話長九三八番

質　大口歡迎　黃金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

京日案內

養鷄　種卵種禽　養豚　種豚　犬島農園　電話九八九番　振替京城五三式八番　京城東大門外東廟南

ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

袴專門　仕立販賣並に學生袴 セル地各種取揃有之　京城本町四ノ一五　山崎袴專門店

新古衣服注文受　神戶楠町四近江屋仕入部（元京城）

恩給年金　低利立替　京城吉野町入口左側　電話一五一六番　山口屋

電話と勸業債券買入　京城光化門通一九〇　電話一四四七番　坂本

高等下宿　客室上等　丁寧親切　京城壽町三十二番地　富喜

書生に被雇度し　中等學校卒業　京城旭町

女子募集　給料廿五歲以上　京城本町　シンガーミシン會社

鮮語科　英語科　各級三ケ月卒業　南大門通　漢城銀行

仲仕入用　內地人廿歲以上　市內に　京城南大門通二丁目　電話三一五番　土佐紙會社支店

年金恩給　低利即時御立替　京城永樂町三丁目　商品陳列館前　江州屋本店

◆有給外務社員募集　斯業に經驗ある奮鬪的紳士を招聘す希望者は至急履歷書を添へ申込れたし　京城府大和町一ノ四六（電話一八三七番）　日本徵兵保險株式會社京城支部

生活難救濟法ノ大發見!!　小資本ニテ高向ナル收入ヲ得ルハ國產的鶉ノ飼養ニ限ル　京城府觀水洞百十番地（大和町會東）　鶉生うづら園

撫順炭　山下製コークス　京城府漢江通十三　特約販賣　實榮商會　電話一〇七番

朝鮮學術研究會編　中學　商業　高等女學　高等普通學校　入學試驗問題答案集　大正七年度　四六版二百餘頁　定價金五十錢　送料四錢　發行所 京城本町 振替二三三三 ウツボヤ書店　入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ　發賣元　京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部　取次販賣所▲大阪屋▲岩松堂

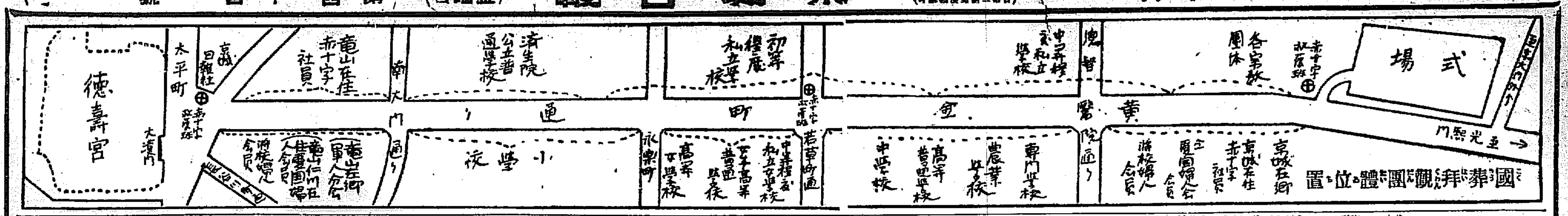
眼科專門　京城明治町二丁目五十六番地（宇治屋茶舖横入ル）　荻原眼科醫院（電話二二六七番）　荻原長藏

麻、綿糸ハツ打綱、シデ紐、源平糸、帳綴糸、細引、タコ糸　麻苧、マニラロープ　綿糸撚糸、棕櫚繩　麻繩、玉糸　各種　○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候　京城本町二丁目　森政吉商店

銘酒　八釜　銀釜　菊正宗　櫻正宗　特約店　三巴京城支店

資本金 貳千貳百七拾萬圓　積立金 壹千四百六拾萬圓　總預金 參億參千萬圓　株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目　振替貯金京城一六一　電話一二三一七番　頭取 佐々木勇之助　支配人 竹村利三郞

內科　小兒科　京城永樂町一丁目（商品陳列館前）　村上病院　院長 醫學士 村上龍藏



◎優渥なる聖旨を奉じて

勅使一行及近衛兵入城

夕刊所報の如く勅使日根野侍從の一行及び近衛儀仗派遣兵は二十七日午後九時十分南大門驛着列車にて入城プラットホームには山縣政務監、兒島警務總長、松永道長官其他朝野の名士多數出迎ありたり

▼日根野侍從談

勅使日根野侍從皇后陛下御使三室戸皇后宮主事、有栖川宮御代拜武田宮內事務官、有栖川、梨本宮外十宮家御代拜宮內事務官木村英俊氏宮內省奏任官總代宮內秘書官木村甚三郎氏の一行は隨員と共に一室に在りたるが勅使日根野侍從は車中往訪の記者を引見し記者の問ひに對し謹嚴なる態度を以て今回特に近衛の親兵を派遣して儀仗に充てられたることに關し　聖旨の優渥なる所以に謹答せり

▼近衛儀仗隊 龍山兵營へ

近衛儀仗兵五十七名は奥大尉、松崎、大河原兩中尉の引率の下に同列車にて龍山に下車し直ちに兵營に入れるが車中奥大尉は昨年滿洲視察の途次入城せしことありし事及び葬儀當日近衛兵の服裝は同夜車中の服裝其儘にて儀仗に附くべき旨を語れり

▼遞相の諧謔

野田遞相は古賀拓殖局長官、小宮錦鷄間祗候と共に一室に在りたるが遞相は例の巨大なる體軀をフロツクに包み泰然とソファに凭れ葉卷を燻らし乍ら自慢の發句、揶揄、諧謔を連發して同席の人々を煙に卷きつゝあつた水原驛で本社の寫眞班を前にして『護院の古賀君は別々になつてるけん、各々欠伸になつてるな』新聞社の寫眞班が來て撮つて外國の新聞に出しこつたり脚ば投げ出して、不行儀たよ。あれで見ると日本の大臣なんぞ餘つぼさ不行儀に見ゆるバイ。それで今晩は膝ば寄せてキチンとしとさかうかアッハッハ』と哄笑一番汽車の響きよりも大きい

▼小宮三保松氏談

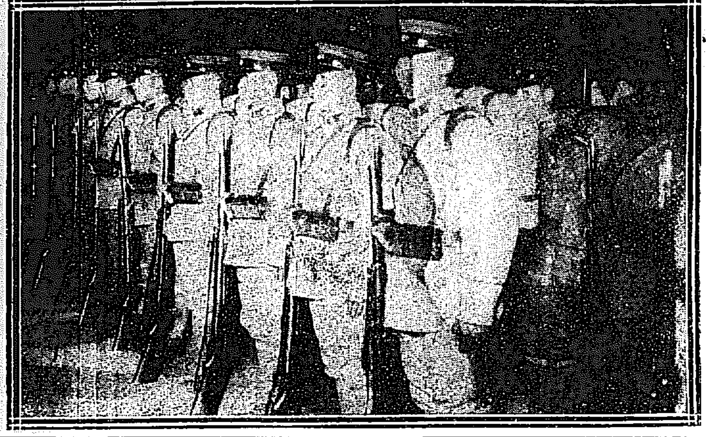
『私は前李王職次官の職に在つた關係上殊に今回の御葬儀に就て感慨が深い。それで私は國葬に參列した上更に金谷迄の葬列に加はり埋柩式にも列する心算である』

◎第三艦隊 廿八日仁川入港

李太王殿下國葬儀當日弔砲發射及び儀仗兵參列の爲め派遣せらるべき第三艦隊鞍馬伊吹の二艦は廿八日正午仁川入港の豫定となれり

◎火藥庫爆發 重傷者八名を出す

二十六日朝神戶鈴木商店所有兵庫縣赤穗郡播磨造船所火藥庫爆發し八名の重傷者を出せり（姫路電報）



◇近衛儀仗隊龍山驛到著 （上）向つて左より奥大尉、大河原中尉、松崎中尉（下）龍山驛に下車せる近衛儀仗兵

◎團體乘車は當分拒絕

南滿鐵道京管局運輸課の各派出所では故李太王殿下國葬儀拜觀團體の申込を引受居たるも申込多數を極め到底應じ切れざるに付當分の間國葬儀拜觀團體の申込をも拒絕する事となれり

◎海女の群 濟州から釜山へ 毎船押すな／＼

春と云へど未だ薄ら寒い昨日今日、釜山は南濱から綠町下方面の海上に女だてらに、あられもない、緊張した肉體美を惜しげもなく日光に曝してヒュー／＼と口笛を鳴らしながら浮つ沈みつしてゐる一團があるが之れは濟州島から出稼ぎに來てゐる海女の一群である、彼等は舊正月を終ると共に一家擧つて各方面へ別れて盛んに潜海漁業に從事するのである右に就き朝鮮郵船會社員は語る『濟州島定期船百平丸は一箇月五航海宛往復してゐるが近來は毎航海とも滿員の盛況を呈して船客は殆んど海女ばかりで充滿してゐる有樣です、然も乘込に際しては我先にと乘船を爭つて丸で喧嘩の樣な騷ぎを現出するさうです、濟州島には七箇所寄港するのですが、何處でも彼處でも乘船希望の海女團が群をなして押し寄せるさうですが定員が百六十名になつてゐますので其れ以上は遺憾ながら乘船を拒絕すると云ふ現狀です今の盛況が持續するとせば當支店でも何とか應急策を講じなければなりません』

地及び千湖面の關係を有すべきは既報の通りなるが該地小作人たる不二興業株式會社長藤井寬太郎氏は過般群山電氣、沃溝水利組合及南部水利組合の各委員二十餘名と會合し…を合せて合計八千町歩の水田に灌漑すべき豫定にして其水源地は高山郡の山間に於て高山川を堰止め五億立方尺の一大貯水池を設け該八千町歩に對し二尺四寸の水量を…助を仰がん設計の由なるが全北道當局に於ても能ふ限りの便宜を與へん內意もあり愈來る四月より實地測量を開始すべき筈也と云ふ

高値	三十六圓四十…
安値	三十六圓〆九十…
平均値段	
一節	三十六圓三十一錢
二節	三十六圓三十四錢
三節	三十六圓三十六錢
四節	三十六圓二十錢

…六圓丁度より…れ先三十六圓二十…れる寄付き三十五錢と引返したるも買物多く再び二十錢と瓦解せしが安値は買物多く三十錢より三十九錢と反撥せしも戻りは賣物優勢

◎地查委員會

高等土地調査委員會にては廿七日午後一時半より總督府第一會議室に於て第五部委員會を開催する所ありたり

◇遞相と拓殖局長官 （向つて右より野田遞相、古賀拓殖局長官、小宮錦鷄間祗候—廿七日夜列車中にて—）

◎御埋柩は夕景 御墓所に於ける諸式

故李太王殿下の大輿は三日午後一時三十分齋場を發し夫れより朝鮮古式の行列に依りて金谷に向はせらるゝこと既報の如くなるが金谷陵御着は夕刻後十二時即ち四日となり或は翌朝迄に至らんも計り難しと云ふ而して御到着後殯殿の諸式を行ひ翌四日は殯殿に於けるが如き明夕の諸式を行ひ同日午後六時半埋棺後靈柩を小輿に移し封墳に向ひ埋所に納むる順序にして李王以下各殿下は齋場より金谷迄御道中は全部馬車に召さるゝ由なり

◎餓に泣く西伯利人 驚くべき物資の缺乏

本岡總督府事務官談（上）

廣漠たる西伯利、北滿の富源は土地の中に埋藏せられてあるもの地上に產するものも今日迄に研究せられた報告を見ても又單に吾々が想像して見ても實際無盡藏と云つても差閊へ無からうと思ふ。而も人口は

△甚だ稀薄 で東部西伯利にイルクック縣を加へて漸く二百七十萬人と云はれて居る。僅かだけの人の力に依つて廣い西伯利を開拓することは容易の業では無い。だから今日西伯利開發に就いて研究することは最も興味ある事である。歐洲戰亂以來西伯利住民へ所要の物資を供給すべき

△唯一機關 たる西伯利鐵道は軍事上に使用せられたり又現に歐露方面には過激派が跋扈して居る爲め其能力を十分に發揮することが出來ない、加之鐵道從業員の仕事振は甚だ不眞面目で不親切である、又今日では豫備品の缺乏を極めて居て滿洲が違へば通用しない紙幣があつたりなどして交通並に取引上の不便は

△想像以上 である從つて物資は缺乏して仕舞つて茲數年住民は誠に氣の毒な狀態になつて居る。最近に至つて漸と一週間一回宛浦鹽オムスク間で急行列車が通ふことになり是には食堂の設備もあるが其他の列車では總て停車場へ降りて食はなければならない。私が食事を取るべく

△或停車場 へ降りると驚いたことには其處には一樣に揃つた食器とては殆んど見當らない半分壞れた皿、コップがあるかと思へば木製の匙もあると云ふ有樣

又或る日カルムスカヤの停車場へ降りると食堂の番人の前に鍋釜の數片とカツレツか何かが少し許り殘つて居た、食堂には

△旅客の外 に其地方の住民も大分來て居る樣であつたが誰も夫れを買はない、さうして皆んなの樣子を見ると或る者は大變憔悴した面持でぐつたりと椅子に凭れて休んで居る、或者は俯向いて何か考へる樣にして居る何だか室內一體が滅入つた樣な光景を呈して居た、即ち食料品の價格が

△法外に高 いので皆んな食はずに辛抱して居るのであつた。食物のみならず生活の必要品は悉く缺乏を訴へて居る、各地の百貨店を覗いて見ても陳列棚の大部分は空虛で極めて少許の品物を大切さうに商つて居る。斯かる悲慘なる狀態に對して西伯利政府なり列國から救濟の方法を講じては居るが迚も十分に行屆いたことは出來ない住民は辛うじて

△餓死を免 れて居るに過ぎないのである。だから鮮かも物資を持つて行つて彼等を救濟してやることは先方も希望するし此上も無い結構なことではあるが今直ぐと云つても前述の如き輸送機關不備等の爲め思ふ樣には出來ない。西伯利の秩序の整頓するのと相俟つて漸次救濟方法を進めるより外途が無からうと思ふ

◎殆ど病牛 釜山の鵞口瘡

釜山の鵞口瘡は其後益々蔓延し廿五日檢疫所六十三頭釜山鎭十五頭の發生を見たるが今日迄の病牛累計は檢疫所千七百六頭釜山鎭五百三十一頭の多きに達し現在の在牛頭數檢疫所一千八百七十七頭釜山鎭七百四十四頭中三百七十七頭を除くのみにて他は全部罹病牛を出せし譯なりされば目下の狀態にては全部罹病せしも同樣の狀態なり故に數日中には全牛舍を隔離する事となるべきが右隔離轉舍せしむべき健全なる頭數は僅に合計三百一頭に過ぎずと云ふ（釜山）

◎白米又下る

廿七日から一等米 四十二錢五厘

市內の小賣白米は廿七日より一錢方値下げする事となれり是にて一等米四十二錢五厘、二等米四十二錢となる筈なるが模樣によりては更に五厘乃至一錢の値下げを行ふべしと

◎長春の天然痘 邦人にも感染

既報長春城內外の支那人間に天然痘流行しつゝありし事は既報の如くなるが其後附屬地居住邦人間に傳染し來り二十四日迄に邦人九名及び支那人一名の該病患者發生し內支那人及び邦人一名死亡し猶蔓延の兆あるより其筋にては臨時種痘を行ふ事となるべし（長春）

◎北鮮の陽氣 雪も解けた

本月中旬來の淸津の暖氣は稀らしき現象にて平年三月末の氣候に匹適し約一箇月陽氣の到來が早き感あり街路は勿論山野の積雪も大部分融解せる程なるが一兩日前には降雨あり夜半に及んで雪と變じ間もなく歇みたるが之れ本年に入ての初雨にて二月中降雨あるが如きは淸津地方としては近年になき事なり尙ほ淸津方面のみならず間島地方も昨今大に氣溫暖かく河水は解氷を初め柳芽の膨むなど漸く春氣色となりたりと

◎國葬遙拜式

李太王殿下國葬當日は長春日本人會に於て遙拜式を舉行すべく同會主催者は警務署檔木署長を訪ひ其の方法に付き相談せし處檔木署長は其擧を賛し長春神社々司と協議の結果同神社に祭壇を設け日本人會主催として一般內地人の參列を求め盛大なる遙拜式を舉行の事に決したり（長春）

○取消申込　大正八年二月七日貴社發行京城日報第四千八十號御掲載の『小學生徒が萬引を働く噂』と題せられ候記事に對し當校に於ては爾來內外各方面に亘り最も嚴重なる調査相重ね候處右は全然當校兒童には關係無之當校兒童中に於て該記事に相當する者の無之のみならず所爲の疑はしき者も無之候こと判明仕り候につき此全文を掲げて該記事御取消相成度右申込候也　朝鮮…公立尋常高等小學校

演藝

▲黃金館　黃金館上場中の新派悲劇（淚の家）は益々好評にて前夜札止の盛況を見せ居れり朝鮮に常設館始まつて以來今回の如く大當りを取つたフヰルムは全く斯界のレコードを破りたるが右映畫は愈々廿八日限りにて打ち止め引續き釜山に於て公開する筈

▲壽座　廿七日より前狂言…一座にて開演

◎京日講演會 聽講隨意

—演題— 我國と近代思潮　—講師— 長瀧智大師

三月一日午後二時より開會す

…京城…日之出小學校に於て…

主催　京城日報社

白晝のピストル貞婦の鑑　九州旅館の段

（その一）

三重……浮世なり。人は性善なるものを、世の中は戀と戀とに冑重なる、身を亡ぼして醜名を、殘すは明治大正の、今も昔に變はりなし。爰に京城旭町、名高き漢陽公園の麓れも淸き一丁目、軒を並ぶる其中に、九州旅館の主なる元は陸軍豫備少尉、都野川義雄其人は、智識も衆に劣らねど、續く不幸はまゝならず、數萬の資産に進退も、半ばは盡きて自暴自棄、昨日も今日も茶屋遊び、繁々通ふ其內に、窃に忍ぶ密會が、度重なりて今は早や、水も洩さぬ仲となり、これが其身を亡ぼせし、仇とは後にぞ知られける。頃しも秋は最中過、垣根につたふ蔦かづら、もつるゝ胸の女房が、赤き心も都野川は、水に流して居つゞけの、留守ちごこ。同『今日も亦お歸りは無さ相な、ほんに思へば此身程、世にあぢきなき者があらうか』緣あればこそ都野川の、

妻と呼ばれて

此程まで、あまたの人を召使ひ、人にも知られし身なりしが、夫都野川の罪なき世のならひとて、義雄もすることなすこと喰ひ違ひの、忠信に、あまたおひめの其上に、仇し女の、意見をすれば、此身をば『同』

◇——西…此度御宿に入れます浄瑠璃の外題、白晝のピストル貞婦の鑑一ト幕…作りましたる…先は九州旅館の段…東西東西——。

紅家抱の忠信

…

よその見る目

りんきしつゝさげすみて、はては打つやらた、くやら』それはまだ／＼ふつゝかな、たらはぬ此身とあきらめても、茲一年は居續けの、外を家なる茶屋遊び、ほんにやるせも情なや』と、かき口說きたる心根はもあはれなり。かゝる歎きを知らぬ身の、客が二階に唄ふ聲……『日の丸の、旗を揭げてちゆ江川節』…が、鑑の祟りでアリヤ計らずも、時吟……岩にぶつかり夜をこわし二百尺緒ばら／＼となる……いかに思へどヨアリヤ岩の上ヨ、ほんに又チョイ／＼乘夫はつらいもの』歌の文句も待佗し、今の我身の辻占かと、思へばいとど涙が泣し、腕の動悸も彌增さる、心を靜かに取り直し『同』『あれは二階のお客さま、人の心も知らずして、ん氣な方ではあるわい』と、又もひに打ち沈む。

入院隨意　內科　小兒科　森病院　醫學士森定吉　京城明治町二丁目江戶川横（電話一六三番）

强壯、補血、興奮、緩和、發汗、健胃、保溫、鎭痛、收歛等ノ諸治利尿的効力ヲ有スルヲ以テ○神經衰弱○精力減退○老衰○冷症○レウマチス○營養不良○肺病○血○婦人病○ヒステリー○腦病○心臟病○胃腸病○慢性マラリヤ病等ニ應用セラル

特約大販賣店　京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

李太王殿下御嘉納品　品質撰擇

本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルヲ以テ金褐色（紅蔘ト同色）ニシテ粘著力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鹹臭ヲ帶ブル有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

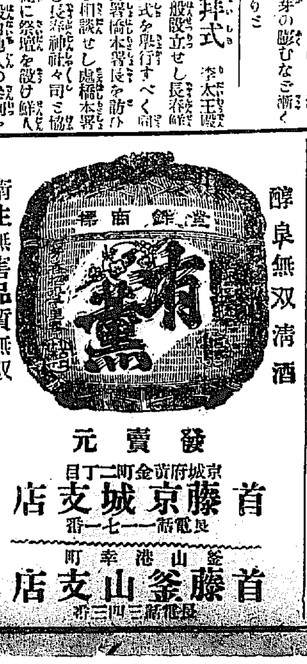
金網入硝子・縞板硝子・磨板硝子・雲板硝子・摺板硝子・雲硝子

兵庫縣尼崎市　本社　極東硝子株式會社

朝鮮一手販賣店　協同組商業部　京城府南大門通五丁目　電話一四三番・一七六九番

御使用先　朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍　龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫　京城印刷所新築工場　京城本町五丁目

醇良無双清酒　衛生無害品質無双



發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

入院隨意　片山內科醫院　京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）　電話一九五一番　片山信夫

和洋合劑新滋養品　人體の活動素　商標印人蔘ココア

見本 日本外 六十戔 朝鮮 五十戔

發賣元　朝鮮釜山辨天町ピワコ屋商店　振替京城二五五番

ひと子（百十九）

北島春石作　森田久畫

霜の朝（二）

額に小手をかざして打眺むる山々には、緑の葉を着けた一木も見當らなかつた。寒暖計は零度を下ること七八度。それでありながら極めて降雪は稀で、靴を襲ふ臘寒の厳しさは戦くばかり、吐く息さへも即座に凍るかと疑はれた。

こゝは朝鮮と云つても、釜山から遥か遠からぬ全羅北道であるから、未だ〳〵寒いの何のと愚痴を零すほどではないが、始めて内地から渡つたものには、可成り手酷しく身に應へる。

礦山の所在地全州から約十里、元より汽車の便があらう筈もなく、羊腸たる山路をわづかにガタ馬車が通ふばかり、この闢瀾礦山まで入込むには、數知れぬ山又山を跋破しなければならず、故郷に愛らしい妻子を殘して來たものならば、まつ物の三日と辛抱されたものではない。

やがては資本金三百萬圓の一大會社を組織する計畫ではあれど、今は未だ試掘時代なので、三千丈の地底に何億とも知れぬ黄金を藏しながら表面から見たところは、朝鮮特有の裸山に過ぎず、唯他山と異なつて見受けられるのは、ところ〴〵に掘立小屋が建てれた丈けで今しも漸く夜が明け放れはしたが、一鳥啼かぬ滿山は唯寂として鎭まり返り、そこに元始的太古の面影を止めてゐる。

『おい、岸上君、未だ寢て居るのかい。』

何處から現はれしともなく、唯有る掘立小屋の前に立つた男が、拳をあげてホト〳〵扉を叩くと、

『斯波君か、僕なら先刻から起きて居るよ。』と宅内から答ふる聲がして『お客樣だから早く此方へお通し申せ。』

それと同時に、寢惚眼のチョンガーが飛んで來て、怪しげに扉を破るやうに押し啓くと、昨夜から閉ぢ籠つてゐた温突の濕氣がムッと鼻を衝くなかに、岸上雅巳が故郷へ送る書面を認めかけてゐたが、

『寒い!!!寒い!!!今朝の嚴寒は十年以來だ。』

戸外に佇つてガタ〳〵胴顫ひしてゐた斯波と呼ばれた男は、チョンガーが扉を開くを遲しとばかり急いで温突内に飛込んだ。

『全く朝鮮の寒さは格別だね。』と雅巳は其方へ向直つて『斯波君なぞはもう馴ッ子で驚きもされまいが、僕は始めてだけに度膽を拔かれた、これで眞夏は百度以上に昇ると聞くが、何だか嘘のやうで信じられんね。』

『だが、我々勞働者には寒いより暑い方が凌ぎ好い、今朝は未だ戸外を覗かんやうだが、そこらの枯木には一面に霜の花が咲いてゐる……内地でも北國へ行けば珍らしくないかも知れぬが、東京以西には無い例で、彼の霜の花が朝日に映つて五彩七彩に燦く光景は、あらゆる天下の寶玉を集めたやうにも思はれ、壯觀だがこの嚴寒には鼻から閉口せざるを得んね。』

『その寒いなかを、何だつてこんなに早朝から出かけたのかね。』

『うむ、今朝早く古瀬君から電報が届いたので、それを報知に還つて來たのだ。』

『すると京城からか。』

『いや、京城は昨日のうちに出發したらしいので、何でも昨夜は永同に一泊して、今日の夕刻までには神崎君が鑛山まで案内するから、我々の一行が乘込んでも差支ぬやう、君と相談して手落なく準備を願ふと云ふ事なんだ。』

『其件でわざ〳〵來てくれたとは御苦勞だつた。京城から珍客が見えたところで、斯る人烟稀なる深山では別に歡待のしやうもなく、温突でも綺麗に掃除して温めて置くくらゐだが……』と、雅巳は話しながら書き終つた書面を封筒に納め上書を認めるだけは後廻しに、

『その神崎と云ふのは古瀬君の友人でもあるのかい。』

『何有今度この鑛山を株式組織にするに就て、尤も有力なる資本主の一人だと聞いて居るよ。』と斯波は大分委しく知つてゐるらしい口吻。

○男子の服装（下）

好みが十年若くなつた　儀式外の袴のいろ〳〵

◇色と縞柄　縞柄は一般に眩しい鬱陶しいものよりも明るいはつきりとしたものが好く、從つて縞は漸く荒い方に傾き數年前に比較すると確かに十年は若好みになつて居ると云ふ、色　茶か藍かと云ふ處、茶は上品向藍は粹向と相場は極つて居る但し赤茶黄茶は禁物若い人には堅縞が好く少年輩の向には横縞或は無地物も歡迎されて居るがその外に金紗の縞や鼠瀬風に織つた地に小紋を

◇染拔式で　出した高尚なものが最近には隨分人の好みを惹いて居る、京地に紺色と紺は絹物に飽きられて多くは茶或は鐵色の羽二重、粹向は金紗縮緬で胴裏には白絹、織色茶の銘仙など下著は上著と同系統の縞柄を多少更へたものか或は對ト著、無論襟は掛ない羽織は前記織物の無地に織紋を共縞で出したのは出ず入らずといふ處又黒紋附ならば

◇綴羽二重　金紗羽二重等通羽二重縮緬等綴り羽二重と云ふのは地は綴れ風で縦を羽二重に織つたので滑らかで而も光澤の無い處が男物にひどく適して居る、其裏は鼠瀬の友染か羽二重で綴と云ふ袴は仙臺平は全く儀式用に止り

◇略著には　節仙臺、綾仙臺細平兩面平、裏は羽二重さもなくば縞の周圍に一巾の羽二重を附けて裾捌きにドッシリした重味を見せる縞目ははつきりと色は著物に調和したものを選ぶ襦袢は友染か絞の金紗縮緬か羽二重の長襦袢半襟は鐵色茶など帶は綴の博多の軟かくふつくりとした織物風の柄合、巾は少し狹くなつて來た

京城の名物（京城南大門通三）　カフエータイガーの洋食　すき燒

日報歌壇

京城　岩田起代子

○

なにごとも求めねられぬ天地に君なるひとにゆるさたましろ

黒髪よせんすべもなく亂れたる今日この頭を狂ほしく生く

山下　淑夫

○

天地のならはしごとに匁くわれ力なき身ぞたどひとりゆく

わが影の長くうつりし枯草の廣野のはてを[illegible]走りゆく

木暮　香

○

山ねちゝこめる霧雨に初めて松の葉の鋭のかそかにもかがやく

山峽ゆ湧きぬる霧のいつしかに頂[illegible]ねちこめいたるかも

灰色の冬空垂れし入海を破れにしヂャンク漂ひいたるも

うらぶれの心淋しき二月の[illegible]貝笛シミ〳〵聞きゐたるかも

前番にも澄みぬる川の小波に春の光をよめける見ゆ

露　草

○

おき玻璃こもらふ部屋のましづかさおろきつかれのこゝろよきほど

過ぎぬれば身の悲しさも嬉しさもゆめと消ゆらん大かたい事

いかにせん此の孰者のおそろしさ生につゞけろ死さし思へど

世にふれはあきらめかねしあきらめん心によくむ事もおぼけし

西村幸治郎

京の春を偲びて

朝かすむ四條の橋は夢のごとゆきかふ人のかすかにぞ見ゆ

智恩院の鐘もろともに京の町夢のごとくにくれか春かな

日報柳壇

劍花坊選

歌かるた

作句　拔句

歌かるたやさしい指に押へられ　泰平坊

輕便の見合をしてるかるた會　錚庭

かるたとるふりで娘の手に觸る　同

嫁ありと廣告をするかるた會　同

手の甲の紅を舐めて歌がるた　厄介坊

關ヶ原二枚の札へ八ッの目　同

紅顔に柳眉を揚げるかるた會　十の字

御手付をする息子のかるた趣味　同

□東風晴　山脇　瓜青

寛を繞ぎて水先濁る春日かな

東風の猪田島に石を投げにけり

朝なの火ちりんにおこす梅の下

松籟可ねて辭す寺月に梅を敲る

[illegible]吹き戻す[illegible]

[illegible]旋風[illegible]根へわがりけり

乾し海苔に砂あぐる日の[illegible]哉

風呂沸いて歸く日高さの蛙かな

昨夜の泉水に誰か咲ひ寄り

[illegible]すまこの[illegible]哉

讀者の領分

▲暖かになつたので本町へ人通りも自由にな（つ）た彼の[illegible]本町の中を[illegible]轉車が行く人力が行くと云ふので往來は全く塞げて[illegible]ければならぬ[illegible]現に僕が見たものでも[illegible]人と自轉車の衝突が一件人力と自轉車の衝突が一件あつた[illegible]相當取締の必要があらう（通行生）▲京城日報の第四面に於て『我等の俳句』の[illegible]に就んで居た私等には[illegible]さまし[illegible]でありますが大正の世の[illegible]吸うてゐながら此の黎明の曙光に浴し得なかつた私等の遺憾越なさが更ながら酬慨に堪へません殺れ馳せながらお供をしたいと思うてゐます過日の紙上で鳥堂さんの俳論を拜見したが『我等の俳句』は私等に卸解な如く評論が充分に飲み込むことが出來ません　だ今日の俳句が既に流麗内容を欠いてゐることは唯に『我等の俳句』や流紅ばかりではあるまいと思ひます單に世間味とか生活に觸れると言ふ事なれば鳥堂さんの所謂從來の俳句といはれる他派の俳句にも其傾向は充分に見られると思ひます私は『我等の俳句』や『五の日十の日』の人々の句にはまだより以上の何者かがあるのではないかと思はれます私は鳥堂さんの筆序に非常に深大な思想の存在を聞いて今少し明晰に最近の句を説明して私等の蒙を啓いてもらひ度いと思ひます數ならぬ私の切なる願ひで有ります（月並句人）▲僕は大[illegible]に[illegible]客席料なり時々浪花節を[illegible]客の中に[illegible]少し公德心を[illegible]高聲に談話し或は其兒女を泣かしめ[illegible]び[illegible]少しも他人の迷惑を顧みず[illegible]雜多の[illegible]て客席に來て遊ばずさも[illegible]しか聽きに來りし[illegible]可惜[illegible]でも[illegible]するか將ならんか（江戸浪人）

新刊紹介

▲單騎遠征（故福島安正述）廿年前單騎伯林を發し露、拉爾を越て西伯利に入り浦鹽に達す、行程三千五百里嚴寒なる大陸を[illegible]山河の艱嶮等[illegible]の困難を排して[illegible]しかも鐵道の利便あるも[illegible]設備ある無く[illegible]一讀宿昔の追懷[illegible]故將軍の風貌躍るが如し（一圓四十錢東京々橋小西書店）

▲女の生命（菊池幽芳著）菊池幽芳氏の新著にして奇しき運命に弄ばれたる一作家の生命を寫して人情の機微を穿ち近來の傑作なり[illegible]妖艶花の如き筆致[illegible]春の夜の慰み物に適せり（一圓八十錢、東京芝公園玄文社）

▲人生と藝術（島村抱月著）因はれたる文藝、沙翁の墓に詣づるの記、ルイ王家の夢の跡、新劇と生の興味、文藝上の自然主義、人生觀上の自然主義、懷疑と告白の七篇を收む、温雅にして[illegible]ある文章は何れも故抱月氏の面影を偲ぶに足れり（八十五錢、東京赤坂丹後町五藝文館）

▲文明と女性（米國ギルマン女史著[illegible]）[illegible]世界婦人史にして殊に日本婦人が讀むことを[illegible]ものあり（一圓六十錢、東京牛込[illegible]町三八[illegible]）

○輸出食品新株第一回拂込　輸出食品株式會社にては[illegible]年度に於て從來の[illegible]漁獲を爲し之を罐詰及び鹽漬[illegible]せしめつゝあり[illegible]増資[illegible]第一回拂込[illegible]

○[illegible]第二回拂込[illegible]

月の衛生

冷性（ひやしやう）、喘息（ぜんそく）、肺病（はいびやう）、痔疾（ぢしつ）

（ミツワ文庫八•二）

此頃の寒さに愈冷る冷性‖子宮病から來る白帯下‖呼吸が促つて苦しい喘息‖寒いと起り勝な便秘‖一寸口に肺病と謂ふ肺結核‖逆上眼、流行眼、トラホームの類‖洗痔、穴痔、裂痔など‖顔を汚くする痤瘡

▲冷性（貧血）

寒中の寒さよりも餘寒が嚴しいので冷性の人は愈冷を感じて夜も眠られないことがある、冷性は大抵貧血から來るもので血液の循環が良くないからそれで温まらないのである、斯樣の人は顔色が蒼く唇や眼瞼結膜の色も褪て淡紅色になり、働くと心悸が亢ぶつて胸苦しく頭部が重く時々眩暈がして酸い食物を欲しがり食慾が減り往々胃が痛み婦人で月經が不順になる。

冷性の人は才神を使過ぎぬやうにして牛乳や鷄卵又蔬菜、穀草の如き緑色の野菜を攝り鐵を含む滋養葡萄酒や複方肝油ドロップスを用ひ、ミツワ人參錠を服むに限る、本藥は貧血を治し腸胃を調へて身體を温めるといふ效能があるから冷性の人は之を常用するに限る。

▲白帯下（子宮病）

白帯下とは子宮病や膣病などで婦人生殖器病の爲に陰部から白い粘液の下りるのを總稱したもので、月經の時の不攝生や攤疾などから起ることが多く、打藥つて置くと腹膜炎やヒステリーを起して甚だ煩はしく且危險である。

それ故白帯下位は何でもないと侮らずに成るべく勞働を避け便通を良くし、酒や刺戟の多い食物を禁じミツワ硼酸錠を溶かして局部を洗つて清潔にしミツワ婦人坐藥を用ひ處方公開のミツワ婦人湯藥を服むに限る本藥は鎭靜、鎭痛、[illegible]、補血の五大效力を備へ婦人の種々の生殖器病や神經病に卓效あるもので數多き婦人藥中信頼して用ひ得る唯一の良藥である。

▲喘息

喘息は冬季の曇天の日に起ることが多くそれは大抵突然に胸部が狹くなつて擠られるやうになり呼吸が促つて顔色が蒼褪め頸部の靜脈が太く張り冷汗が流れる、此の苦惱が二三分から一二時間も續いて漸次に樂になると共に咳嗽が出て少量の痰を喀出すのである、本病は直接生命に危險は無いが頗る苦しく治り難い。

喘息の人は刺戟せぬ飲食物を攝りミツワ鎭咳錠を服むに限る、本藥はアノイミン、フエナセチン、安息香酸、ブローム、カンフル、ミルトール等の有效藥を巧に配合したもので咳嗽や痰を減らし呼吸を容易くする效力があるから喘息や百日咳は勿論のこと肺結核や肋膜炎其他呼吸器病一切の鎭咳に最も良く適當してゐる。

▲便秘

寒いときには自然腸の蠕動が不足し隨つて便秘することが多い便秘が久しくなると腹部が膨れ壓されるやうな感がして甚だしくなると痛んで來る、それから頭痛や眩暈又惡心を催し食慾が不足して氣も鬱いで仕事も嫌ふやうになる而して便を催すときに強く努責むから肛門が痛み往々出血す。

便秘の人は野菜や果物などを攝り適宜の運動を爲し腹を按摩したり温浴したりして藥としてはミツワ緩下錠を服むに限る、本藥は緩和な下劑として醫家一般の推賞してゐるカスカラサグラダ流動越幾斯に複方甘草散とを調合したもので家庭用の下劑としては此の上も無い理想的のものである。

▲肺結核（肺病）

風を引いて咳嗽や痰が出ると思つてゐる内に肺を結核の黴菌に侵されて所謂肺病となることがある、而して熱が出て時々血を喀き漸次に衰弱し力が脱け且腸や喉頭の結核を起し遂に不幸に斃れるやうなことがあるから早く手當をせねばならぬ。

肺病になつても失望せずに精神を快活にし新鮮な空氣を呼吸し日光に浴し滋養料を食ひ、ミツワ人參葡萄酒を飲みミツワ結核錠を服むに限る、本藥は結核藥として名高い炭酸グアヤコールやメチレンクレオソートを主藥としそれに補血、強壯、健胃等の效能ある藥劑を加へたもので肺結核はじめ結核性の病に罹つた場合は勿論のこと是等の病の疑ひある時も是非用ふべき良藥である。

▲眼病

逆上眼即ち結膜充血では眼瞼が充血して羞明しく灼くやうに刺すやうに感じてコロ〳〵して物を見詰めると涙が出て仕事することが出來ない、流行眼即ち加答兒性結膜炎では逆上眼よりも病状が一層重く目脂が多く出て上下の眼瞼の睫毛がそれが爲に互に膠着して眼が開かなかつたり目脂が角膜に附いて物を見る妨げとなつたりする、トラホーム即ち顆粒性結膜炎は俗に裏目とか擦目とか稱へられ眼瞼の結膜に顆粒が出來其の數は五六個から數へきれぬほどで熱つたり痛んだりして中々治らない。是等の眼病に在つては便通を良くしミツワ硼酸錠を溶かして眼を蒸すなり冷すなり又洗ふなりしてミツワ點眼液を用ふるに限る。

▲痔疾

痔疾の内痔核即ち洗痔とは肛門の内或は外に豌豆位から胡桃程の大きさの節が出來便通の時に痛んで時々出血するもの、痔瘻即ち穴痔は肛門の周圍に隧道が出來肛門の内或は外に口を開いてゐて膿が出て痛み又癒ゆるもの、肛門裂傷即ち裂痔は肛門の入口の粘膜が龜裂したやうに裂けて便通のとき劇しく痛み血を洩らすものである。

以上痔疾の家庭治療としてはミツワ緩下錠で便通を整へ硬い便の出ぬやうにし内容明示のミツワ痔坐藥を用ふるに限る、本藥はタンニンフオルム、イヒチオール、鹽酸コカイン等收斂、鎭痛、止血、防腐等の作用ある藥劑を配合して肛門坐藥に造つたものである。

▲痤瘡

脂の多い人は痤瘡が出來易く顔が汚らしくなる、痤瘡は誰も知つてゐる通り針頭から小豆位の大きさの紅い丘疹で其の尖頭に黄色の膿をもち周圍は紅く坐取る而して容貌を氣に懸ける青春期に出來るから適當の治療を施さねばならぬ。

それ故痤瘡が出來た人や脂の多い人は常に優良無刺戟のミツワ石鹸を使つて温浴し成るべく熱い湯で顔を洗ひミツワ雲の雫を塗り、一つ一つの痤瘡にはミツワ痤瘡膏を塗るに限る、本藥はチグノール、レゾルチン、カンフル、沈降硫黄等を配合したもので痤瘡ばかりでなく毛拍、白癬、疥癬等の皮膚病に大きなる效驗を現はす良藥である。

ミツワ人參錠五十錠五十錢、百錠一圓、ミツワ規那鐵葡萄酒一壜一圓廿錢、複方肝油ドロップス百粒入一圓八十錢、ミツワ婦人湯藥八十錠五十錢、ミツワ婦人坐藥六個五十錢、ミツワ硼酸錠百五十錠廿五錢、ミツワ鎭咳錠百錠一圓五十錢、ミツワ緩下錠四十錠廿錢百廿錠五十錢三百五十錠五十錢、ミツワ結核錠百錠二圓、ミツワ人參葡萄酒一壜一圓八十錢、ミツワ點眼液一壜五錢、ミツワ痔坐藥六個四十錢、ミツワ痤瘡膏一函廿錢、ミツワ[illegible]一壜四十錢大壜一圓六十錢。内地以外は關税運賃を加ふ、發賣元[illegible]品目録申越次第送呈、東京日本橋區橘町丸見屋商店

家庭治療法（菊判上小山田　四六判三百頁）本書は日常罹り易き疾病の原因症状等を平易に説き家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五十錢。但し郵券代用不苦を添へ御申込あれば一冊進呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

一月の[illegible]輸收入は二萬七千九百三[illegible]ける[illegible]五百六十七圓の増加を示せり而して本月は上中旬を通じて氣候不順なりしにも拘らず如上の成績を見[illegible]

▼旅客に於ては　朝鮮人[illegible]員一萬五千三百八人收入一萬四百[illegible]六十八圓[illegible]と比較する[illegible]漸く嚴寒の候に入り交通上時小[illegible]適ならざる爲の旅客の往來自然閑散なりしに因る又開通乘客として[illegible]鮮人の間島移民團[illegible]四百五十四[illegible]

▼貨物に在りて　局用品[illegible]及び工事用品を除き[illegible]一萬[illegible]二百三十一噸八一[illegible]二噸にして之れ[illegible]布設[illegible]共に常線に於る大[illegible]に至り[illegible]其の制限を受く[illegible]に市價[illegible]千六百餘噸の數量を[illegible]然るに本月中旬[illegible]全く運搬力の杜絶を來して一時[illegible]内持込み[illegible]

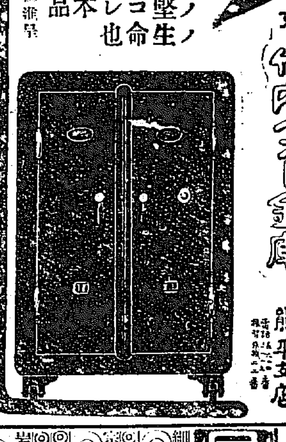
▼流行性[illegible]口瘡[illegible]

綿布百八噸米七十四噸新七十三噸木材七十八噸粟六十六噸[illegible]粉三十七噸を主なるものとし

▼連帯運輸に在て[illegible]して合計一萬六千五百三十七斤[illegible]大門[illegible]五十二噸の[illegible]

眼科専門　京城若草町（龍鑑部通り新道路中間）　金井眼科醫院　電一五五六　新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

東京　外觀ノ美ト堅牢ノ生命ハ實コレ本品也　竹内ペント金庫　熊平支店



内科　胃腸病科　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一一三七九　二〇九番

優等清酒　菊　醸造元　富安本店　福岡縣三井郡山川村　發賣元　富安支店　京城永樂町二丁目　電話[illegible]　振替[illegible]

イケダ小兒内科醫院　池田季雄　京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目電話（醫院一二三四番）

醫化學諸器械一式　仁川本町　北島藥店　電話三四・振替京城六十七番　京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七一六一番

藥種賣藥卸商　Ⓚ

京城永樂町二丁目　酒井婦人病院　入院隨意　電話一六〇〇番　一六八番　酒井一郎

宮内省御用達　ヒゲタ醬油　千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社醸造　代理店　京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話長八四九番

瀬戸外科皮膚科醫院　京城旭町二丁目（元三丁目）　電話二四九八　醫學士　瀬戸潔　（診察夜九時迄）

天下一品　増本酒店

最新刊　◎論語講義　細川潤次郎、南摩綱紀共述　◎日蓮國家觀　田邊善知著　◎姉さまいも　濱子　◎鑛山と鑛業法　岩永丸山共著　◎世界大戰史　前編　◎[illegible]民主主義　◎人の罪　前編　大阪屋號　京城本町一丁目

有田ドラッグ　大阪市　心斎橋　進呈　りん病　ばいどく　歐米醫科大學帝國大學病院[illegible]　にせ物あり　大阪有田　京城南大門外停車場通　有田ドラッグ滿鮮本部　京城黄金町二丁目　有田ドラッグ支店　龍山練兵場前　支店　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤鍾路十二番地　仁川宮町二丁目　大連浪速町　グッドラ支店　朝鮮のにせ物　京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり歸着せられざる樣御注意を乞ふ　全國の都市に支店あり　有田ドラッグ　東京　大阪心斎橋筋本町

會葬御禮申上候　村山健二郎